

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	1 第4次産業革命への対応と新たな成長産業の育成
政策目標	第4次産業革命による技術の進展に対応し、富山県の強みである素材分野の技術や産業集積を活かしてイノベーションが起こり、県内企業が生産性の向上や新たなビジネスモデルの創出、成長産業への参入に挑戦していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)IoT、AI、ロボットの導入など新たなものづくり基盤の強化	■新たな成長産業の育成 ・【拡】アルミ産業成長力強化戦略推進事業 循環型アルミ産業網の競争力を強化するため、アルミのリサイクルに向けた研究開発の支援や人材育成等を実施 ・【拡】ヘルスケア産業育成創出事業 ヘルスケア分野での新たな産業創出を目指し、「とやまヘルスケアコンソーシアム」による県内企業のヘルスケア産業への参入と、新製品開発・新事業創出を支援 ■IT・IoT関連産業に対する支援 ・【拡】中小企業デジタル変革推進事業 県内企業のデジタル技術を活用した企業変革を推進するため、企業向け講座の開催や優良事例動画による普及啓発、デジタル化相談窓口における伴走型支援を実施 ・ローカル5G活用生産性向上推進事業 県内企業のローカル5G活用を推進するため、基地局整備等を支援	52,069 56,650 30,100 10,400
	(2)先端ものづくり産業の育成(航空機産業、ロボット産業など) ■航空機産業への参入支援 ・航空機産業国際的販路開拓事業 共同受注グループによる海外の展示会への出展を支援 ・航空機産業認証取得支援事業 航空機産業の品質マネジメント規格(JISQ9100、Nadcap等)の認証取得に取り組む中小企業に助成 ■新たなロボット関連産業の育成 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 ■産学官共同研究の推進 ・産学官協働ローカルイノベーション創出事業 富山県ものづくり産業未来戦略の重点分野を核とする新コア技術の創出を目的とした、研究会による知識の習得、新技術の創出や実践的なものづくり人材の育成を推進 ■産学官共同研究による新商品・新技術開発支援 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 ・大学発シーズ加速化事業 大学の技術シーズを活用し、成長産業分野に関連した企業の製品事業化からバックキャスト型で設定された大学、企業の共同研究プロジェクトに対して支援	1,500 1,500 82,290 12,000 82,290 5,000
	(3)環境・エネルギー関連産業の育成(次世代自動車、水素インフラなど) ■次世代自動車、水素インフラ関連産業への参入支援 ・燃料電池車両普及促進事業 脱炭素社会構築に向け、水素の利活用を推進するため、燃料電池車両の導入を支援 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 ■再生可能エネルギー等の関連技術や商品開発支援 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援	5,000 82,290 82,290

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
IoT推進コンソーシアム ワークショップ参加者数	84人	172人	IoT推進コンソーシアムが実施するワークショップの参加者数 (累計)
ロボティクス研究会の会員数	356	450	ロボティクス研究会に参加する会員数
環境・エネルギー分野に係る産学官共同 研究件数(累計)(再掲)	20件	50件	とやま成長産業創造プロジェクト推進事業(グリーン成長戦略 分野研究開発支援)及び産学官オープンイノベーション推進 事業「新商品・新事業創出枠」(環境・エネルギー分野)で採 択された産学官共同研究件数の累計

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	2 医薬・バイオ関連産業の育成など、世界の「薬都とやま」の確立
政策目標	高い技術力や産業集積など「くすりの富山」の強みを活かし、県内企業などが新たな成長分野に挑戦するとともに、海外への販路を拡大させ、本県医薬品産業が更に発展していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)新たな成長分野への参入等の促進や付加価値の高い製品を生み出す技術力等の強化	■製造技術力・製剤開発力の強化 ・【新】医薬品開発支援事業 将来の薬業界を担う若手研究者の育成支援のため、県内製薬企業の若手研究者が取り組む医薬品研究開発を支援 ■薬事総合研究開発センターの機能強化 ・富山シャクヤクのブランド化推進事業 富山ブランドシャクヤクの栽培省力化・調製加工等の研究を実施 ・医薬品品質評価研究費 バイオ医薬品等の品質の評価方法等を確立するための先導的な研究を実施	26,500 3,502 7,110
	■産学官連携による最先端プロジェクトや専門人材育成への支援 ・地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業 県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成を推進 - 早期事業化に向けた医薬品研究開発の推進 - 「くすりの富山」を支える専門人材の育成・確保 ■技術者の資質向上の支援 ・医薬品製造専門人材育成事業 本県医薬品産業における技術向上や専門人材の育成確保のため、共同研究の実施やセミナー・研修等を実施	234,000 564
	■ヘルスケアの推進 ・【拡】ヘルスケア産業育成創出事業(再掲) ヘルスケア分野での新たな産業創出を目指し、「とやまヘルスケアコンソーシアム」による県内企業のヘルスケア産業への参入と、新製品開発・新事業創出を支援 ・大学発シーズ加速化事業 大学の技術シーズを活用し、成長産業分野に関連した企業の製品事業化からバックキャスティング型で設定された大学、企業の共同研究プロジェクトに対して支援 ■深層水関連産業の振興 ・深層水「富山ブランド」推進事業 深層水の利用拡大や深層水関連商品の販路開拓等	56,650 5,000 4,690
(4)高品質な医薬品等の国際展開の推進	■世界市場への展開を見据えた医薬品産業の振興 ・【新】富山・バーゼル交流促進事業 「世界の薬都」スイス・バーゼル地域との交流促進のため、富山・バーゼルの学生の交換訪問プログラムを実施 ・世界の薬都海外展開事業 国際ビジネスに精通した国際技術交流アドバイザーを設置するなど薬業界の国際展開を支援	8,800 3,080

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
医薬品等の研究開発支援件数	42件	65件	県内製薬企業が実施する医薬品等の研究開発に対する助成件数(累計)
医薬品に関する技術研修への参加者数	1,542人	1,650人	薬事総合研究開発センター等が実施する、医薬品に関する技術研修等への参加者数(累計)
医薬工連携による共同研究件数(累計)	60件	70件	ものづくり企業(技術シーズ)と医療現場(医療ニーズ)等とのマッチングによる共同研究数の累計
医薬品分野における国際交流事業等への参加者数	510人	650人	医薬品分野に係る海外からの来県者数及び富山から海外への訪問者数(累計)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	3 産学官の連携によるものづくり産業の高度化
政策目標	産学官共同研究や大学等から企業への技術移転により、様々な分野において新技術や新商品が数多く開発、実用化されるとともに、本県のものづくり技術が高度化し、産業の競争力が強化されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 産学官連携体制の強化	<p>■産学官連携体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】アルミ産業成長力強化戦略推進事業(再掲) 循環型アルミ産業網の競争力を強化するため、アルミのリサイクルに向けた研究開発の支援や人材育成等を実施 ・【拡】ヘルスケア産業育成創出事業(再掲) ヘルスケア分野での新たな産業創出を目指し、「とやまヘルスケアコンソーシアム」による県内企業のヘルスケア産業への参入と、新製品開発・新事業創出を支援 ・産業支援機関連携データ集積発信事業 産業支援機関の設備や研究の情報を提供するポータルサイトを構築 ・産学官連携推進体制整備事業 新世紀産業機構に産学官連携コーディネータ等を配置 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 ・【新】ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業 県内ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミー(循環経済)の推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携の推進 ・大学発シーズ加速化事業(再掲) 大学の技術シーズを活用し、成長産業分野に関連した企業の製品事業化からバックキャスト型で設定された大学、企業の共同研究プロジェクトに対して支援 <p>■ものづくりの気運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県ものづくり大賞表彰事業(※隔年開催) 高度な技術開発により県内ものづくり産業の発展に寄与した企業を顕彰 	<p>52,069</p> <p>56,650</p> <p>950</p> <p>7,325</p> <p>82,290</p> <p>16,000</p> <p>5,000</p> <p>2,000</p>
(2) 産学官共同研究の促進	<p>■ものづくり研究開発センターの活用による産学官共同研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官協働ローカルイノベーション創出事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略の重点分野を核とする新コア技術の創出を目的とした、研究会による知識の習得、新技術の創出や、実践的なものづくり人材の育成を推進 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 ・フロンティア研究推進事業 先駆的かつ分野横断的な研究開発を促進するため、複数の県試験研究機関、または県試験研究機関と県内の大学等が連携して行う共同研究を支援 	<p>12,000</p> <p>82,290</p> <p>10,000</p>
(3) 知的財産の活用	<p>■特許取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許流通促進事業 県知的所有権センター(産業技術研究開発センター内)に特許流通コーディネーターを配置 	<p>5,836</p>
(4) 開放型研究施設・設備の充実	<p>■公設試験研究機関等の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術研究開発センター設備整備事業 ものづくり研究開発センター等に各種材料の最新加工設備機器等を整備し、県内企業に開放 	<p>86,664</p>
(5) ものづくり技術を支える人材(研究者・技術者)の育成	<p>■高度なものづくり人材等の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官協働ローカルイノベーション創出事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略の重点分野を核とする新コア技術の創出を目的とした、研究会による知識の習得、新技術の創出や、実践的なものづくり人材の育成を推進 ・中高生ものづくり産業技術魅力探検事業 中・高校生に対し、県内ものづくり企業の現場と産業技術研究開発センターなど県の産業支援施設の取組みを一体的に見学する機会を設定 <p>■若手研究者・技術者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手研究者育成事業 県内企業のグループによる企業技術者の共同研究形式での技術者育成への支援 	<p>12,000</p> <p>1,500</p> <p>2,000</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
産学官ネットワーク会員数	716社	752社	県立大学(研究交流会)、富山大学(地域共同研究センター交流振興会)、富山高専(技術振興会)の産学連携組織に参加している企業会員数
産業技術研究開発センターが実施する共同研究件数	158件	264件	産業技術研究開発センターが実施する共同研究件数(平成28年度からの累計)
知的所有権センター特許流通コーディネータの企業訪問相談件数	0社	30社	特許流通コーディネータの企業訪問指導件数
産業技術研究開発センターにおける企業派遣技術指導件数	33社	50社	産業技術研究開発センター研究員の企業訪問指導件数(H30まではものづくりアドバイザーによる訪問件数を含む)
若い研究者を育てる会の共同研究に参加した企業の研究者数	200人	225人	若い研究者を育てる会に参加する企業の研究者数(累計)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	4 起業チャレンジへの支援
政策目標	起業にチャレンジする県民が増えるとともに、多様な起業家が生まれ、成長し、国内外で意欲的に事業展開していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 起業マインドの醸成と起業家の育成 (潜在・準備期)	<p>■ 起業家精神の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘やハンズオン支援、県内企業・団体の機運醸成等を実施 ・とやまUIJターン起業支援事業 県外在住者で、本県に移住し、県内での起業を目指す若者等を対象に、起業家育成プログラムを実施するとともに、創業経費等を助成 ・【新】高校生首都圏インターンシップ事業 県内高校生を対象とした首都圏スタートアップ企業でのインターンシップを運営する実行委員会に参画 ・ポートランド起業・ビジネス研修実施事業 県内大学生等の起業家マインドを醸成するため、「起業の街」である米国オレゴン州ポートランド等において研修を実施 	61,000 37,000 3,000 23,760
(2) 事業資金や販路開拓への支援 (スタートアップ期)	<p>■ 起業家が抱える課題に対応するための実務専門家の派遣による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(再掲) スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘やハンズオン支援、県内企業・団体の機運醸成等を実施 ・富山県中小企業支援センター事業補助金 プロジェクトマネージャー、専門相談員による相談支援、専門家派遣による助言、指導等 <p>■ 県内の創業支援施設における支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援センター・創業移住促進住宅管理運営事業 多くの起業家や移住者を呼び込み「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点となるよう管理運営 ・とやま創業支援拠点活性化事業 創業・移住の交流拠点化に向けて、「SCOP TOYAMA」において集客イベントを開催 <p>■ 創業・ベンチャー企業への資金面での支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(再掲) スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘やハンズオン支援、県内企業・団体の機運醸成等を実施 ・スモールビジネス創業支援事業 年齢やキャリアに関わらず、誰もが起業にチャレンジできる環境を整備するため、スモールビジネス・コミュニティビジネスでの起業・新分野展開に必要な経費を助成 ・とやまUIJターン起業支援事業(再掲) 県外在住者で、本県に移住し、県内での起業を目指す若者等を対象に、起業家育成プログラムを実施するとともに、創業経費等を助成 ・中小企業融資制度(創業・事業承継支援資金(創業者枠)) 創業後間もない中小企業者の資金繰りを支援 ・県融資制度に係る保証料の軽減や損失補償を実施(再掲) 創業、経営革新等を伴う事業承継時の保証料率を年0.2%引き下げるほか、国の保証制度である「スタートアップ創出促進保証」利用時の保証料を一部補助 ・元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド事業(ベンチャー企業への投資) ベンチャーファンドによるベンチャー企業に対する株式や社債の引受けによる長期低利な資金の供給 ・スタートアップ支援事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業) 成長可能性の高い事業や社会課題に取り組むスタートアップを支援 <p>■ 地域貢献型事業への資金面での支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業融資制度(新事業展開支援資金(地域貢献型事業支援枠)) 地域貢献型事業を行うNPO法人等に対する支援 <p>■ 販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライアル発注推進事業 新分野の開拓を図る中小企業者が生産した新商品・新役務について、県が認定のうえ、率先して購入し、購入後の意見を事業者へフィードバックすることで認定商品等の販路開拓、商品開発を支援 ・販路開拓挑戦応援事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業) 国内外の見本市・展示会への出展、市場調査、海外マーケティングを支援 	61,000 90,467 75,977 2,000 61,000 11,000 37,000 1,975,000 4,715 100,000 1,000

(3)販路拡大への支援（成長期）	■産学官共同研究による新商品・新技術開発支援 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 ・中小企業経営革新支援事業 新たな事業分野への進出等を行う経営革新計画の策定指導や計画推進の支援 ・ものづくり研究開発支援事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業) 新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取組みを支援 ・地域資源活用事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業) 産地の技術や農林水産品、観光資源等、富山県の地域資源を活用して行う新商品、新サービスの開発等の取組みを支援 ・農商工連携推進事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業) 中小企業者と農林漁業者、もしくは自ら事業を行うNPO等の中小企業者以外の者と農林漁業者との連携体が行う新商品、新サービスの開発等の取組みを支援 ■販路拡大支援 ・見本市等共同出展支援事業（とやま中小企業チャレンジファンド事業）(再掲) 共同受注等の獲得を目的とした大規模見本市への共同出展を支援	82,290
		1,115

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
県創業支援センター相談件数	98件	312件	県創業支援センターにおいて、相談に応じた件数(延べ件数)
トライアル発注商品認定数	277件	320件	トライアル発注制度における認定商品件数の累計
新商品・新事業創出公募事業等における商品化・実用化件数	22件	30件	新商品・新事業創出公募事業等における実際の商品化・実用化件数(累計)

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	5 人口の増加・定着に結びつく多様な企業の立地
政策目標	企業の立地環境が一層充実し、若者や女性の雇用につながる本社機能・研究開発拠点等や、成長性が高く地域経済の発展に貢献する企業が、数多く富山県に進出してきていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 魅力的な企業立地環境の整備	<p>■交通・物流基盤の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路における追加ICの整備促進 (能越自動車道(仮称)福岡PAICの整備促進)(再掲) ・高規格道路の整備促進 (富山高山連絡道路、富山高岡連絡道路、高岡環状道路、富山外郭環状道路)(再掲) ・ANAと連携した国内線の利用促進(再掲) ANAとの包括連携協定に基づき、西日本及び札幌を重点としたプロモーションや、個人向け搭乗キャンペーン等を実施し、誘客促進を図る。 ・伏木富山港の機能強化 <p>■立地基盤の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県西部工業用水道事業(給水能力400,000m³/日) ・富山八尾中核工業団地工業用水道事業(給水能力6,125m³/日) ・利賀川工業用水道事業(給水能力8,200m³/日) ・【新】県有地の企業誘致戦略調査事業 カーボンニュートラルやサーキュラエコノミーによる付加価値創出を実現し、県内経済をけん引する投資を呼び込むための基本調査を実施 <p>■産官学共同研究開発の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 <p>■優秀な人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致企業人材確保支援事業 本県への進出前から進出後まで、一気通貫で誘致企業の人材確保を支援 ・【拡】多様なインターンシップ導入支援事業 大学1～2年生などの低年次から参加しやすい、魅力的なインターンシップの導入に向けた中小企業の取組みを支援 ・とやまUターン就職応援事業 学生人気業界セミナー、就職女子応援カフェの開催や就職活動等に必要な交通費助成を実施 ・大都市圏大学Uターン就職パートナーシップ事業 早稲田大学との就職支援協定による新規事業創造インターンシップの開催など県外大学との連携強化のほか、企業視察会等を実施 ・富山版「プロフェッショナル人材・副業兼業人材確保プロジェクト」実施事業 県プロフェッショナル人材戦略本部を拠点に、県内金融機関等と連携し、県内企業のプロフェッショナル人材や副業・兼業人材の活用を支援 	<p>11,845,000 の一部</p> <p>30,500</p> <p>1,901,000 の一部</p> <p>5,065,580</p> <p>129,984</p> <p>227,353</p> <p>15,000</p> <p>82,290</p> <p>4,500</p> <p>13,610</p> <p>8,496</p> <p>12,451</p> <p>42,400</p>

<p>(2)積極的な企業誘致活動の展開</p>	<p>■成長性の高い企業等の誘致推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 成長性が高く、先端的な技術力を有する企業を中心とした企業誘致の展開(集積業種) <ul style="list-style-type: none"> 環境・エネルギー関連産業(次世代自動車、新型電池、半導体、FPD、ソーラーパネル など) ものづくり関連産業(航空機、ロボット、機械・金属 など) 医薬・バイオ・健康生活関連産業(医薬品、医療機械・器具、食料品、飲料、繊維 など) 情報サービス関連産業(コールセンター、データセンター など) 物流関連産業(道路貨物運送、倉庫業 など) 【新】女性活躍企業誘致促進事業 女性活躍の推進に積極的な企業に対する誘致プロモーションを実施 <p>■地域未来投資促進法に基づく企業誘致の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域未来投資促進法、富山県地域未来投資促進計画に基づく支援措置の適用(国税、地方税の減免) <p>■地方移転・拠点強化促進計画に基づく本社機能や研究開発拠点の移転・拡充の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域再生法、「とやま未来創生」企業の地方移転・拠点強化促進計画に基づく支援措置の適用(オフィス減税、雇用促進税制の特例措置、地方税の軽減) <p>■優れた立地環境のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業立地セミナーの開催 大都市圏の企業の投資担当責任者等を対象に本県の優れた立地環境をPR <p>■オーダーメイド型の企業誘致の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業訓練機関などを活用した企業の実情に応じたオーダーメイド型の人材の育成・確保 <p>■関係機関と連携した効率的な情報収集・情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業基盤整備機構等の産業支援機関、経済団体、金融機関、市町村等との情報ネットワークの強化 ホームページ等を活用した立地環境や助成制度等の情報提供 	<p>3,000</p> <p>2,150</p> <p>8,148の一部</p>
<p>(3)県内立地企業に対する総合的な支援</p>	<p>■企業立地助成制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業立地助成金 製造業、ソフトウェア業等の新規立地・増設、県外からの本社機能移転又は研究開発拠点の拡充に対し、助成金を交付 ものづくり産業見学・体験施設等設置事業補助金 本社や工場の移転・新増設に合わせて見学・体験施設等を設置する企業に対し、補助金を交付 富山サテライトオフィス整備支援事業 市町村と連携し、サテライトオフィス施設の整備を支援 <p>■産学官連携及び企業間連携による研究開発・事業化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援 	<p>1,202,000</p> <p>5,800</p> <p>82,290</p>

<参考>
活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
企業立地セミナーの参加者数	4,211人 (H23～R5)	5,000人	企業立地セミナー参加者数(累計)
高規格道路の整備延長(再掲)	190.9km	189.1km	高規格道路(高速自動車国道、一般国道自動車専用道路、地域高規格道路)の供用済み延長

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	6 中小・小規模企業の総合的な支援体制の強化
政策目標	本県産業を支える中小・小規模企業が、社会の変化に伴う新たなニーズに的確に対応し、柔軟性を発揮しながら、活発に企業活動を展開していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 中小・小規模企業への支援体制の充実・強化	■ 県中小企業支援センターの機能充実 ・富山県中小企業支援センター事業補助金 プロジェクトマネージャー、専門相談員による相談支援、専門家派遣による助言、指導等	90,467
	■ 商工団体の組織基盤の強化 ・小規模事業指導費補助金 小規模企業に対する経営指導員等による経営改善指導や、商工会議所、商工会の組織基盤の強化を支援 ・中小企業団体中央会事業補助金 中小企業団体中央会の組織基盤の強化を支援	1,216,155
	■ 富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する基本条例の制定を契機とした中小企業の意欲的な取組みの喚起・促進 ・中小企業振興推進事業 中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議の開催等	91,914
	・【新】富山県中小企業トランスフォーメーション補助金【11月補正】 中小企業者等が、エネルギー使用量や機器稼働状況等の見える化・対策の実施、DXやGXを通して 業務プロセスや事業構造の変革による生産性の向上を図る取組みを支援	738
	・【新】価格転嫁推進事業 価格転嫁シンポジウムの開催や実態把握に向けた調査を実施	500,000
	・【新】価格転嫁推進事業 価格転嫁シンポジウムの開催や実態把握に向けた調査を実施	4,800
(2) 新事業展開、販路開拓、新商品・新技術の研究開発への支援	■ 農林水産物の生産、加工、販売等を一体的に行う取組み(6次産業化)への支援 ・6次産業化推進事業(再掲) [富山農山漁村発イノベーションサポートセンターの運営 ・とやま6次産業化セミナーの開催 ・6次産業化の戦略推進]	4,500
	・6次産業化支援事業(再掲) 農林漁業者による商品・サービスの開発等を支援 [6次産業化チャレンジ支援事業 ・6次産業化施設整備等事業]	78,600
	・とやま農商工連携推進事業 農林漁業者と中小企業者の連携を促進するとともに新商品開発や販路開拓を支援	5,500
	■ 新たな「とやまブランド」の発掘・育成 ・「明日のとやまブランド」育成支援事業(再掲) 「明日のとやまブランド」育成支援対象品目のブランド力強化に向けた取組みに対する支援	5,370
	■ 産学官共同研究による新商品・新技術開発支援 ・【新】産学官オープンイノベーション推進事業(再掲) 富山県ものづくり産業未来戦略に基づく成長産業分野に関する研究会活動の実施や新製品、新技術の研究開発を支援	82,290
	■ 販路開拓のための総合支援 ・トライアル発注推進事業(再掲) 県内の中小企業等が生産する新商品を県が認定し県内外にPRするほか、県が購入した商品について、購入後に意見を事業者へフィードバックすることで認定商品の販路開拓、商品開発を支援	1,000
	・見本市等共同出展支援事業 (とやま中小企業チャレンジファンド事業) 共同受注等の獲得を目的とした大規模見本市への共同出展を支援	4,178
	・中小企業大都市圏販路開拓支援事業 新世紀産業機構に販路開拓マネージャーを配置	4,178
	・販路開拓挑戦応援事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業) 国内外の見本市・展示会への出展、市場調査、海外マーケティングを支援	29,500
	・【拡】富山県小規模事業者事業継続力強化補助金 小規模事業者が商工会・商工会議所と連携して実施する防災・減災への取組みを支援 震災対策に係る計画策定・設備導入の補助率を引き上げ	1,000
	・とやまビジネスドラフト開催補助金 県商工会議所連合会と県商工会連合会が、石川県、福井県及び北陸新幹線沿線の商工会議所、商工会と連携して開催する商談会に対し助成	1,000
	・【新】富山県中小企業トランスフォーメーション補助金【11月補正】(再掲) 中小企業者等が、エネルギー使用量や機器稼働状況等の見える化・対策の実施、DXやGXを通して業務プロセスや事業構造の変革による生産性の向上を図る取組みを支援	500,000

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県内中小企業の海外販路開拓に対する総合支援 <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓挑戦応援事業(国外分/とやま中小企業チャレンジファンド事業)再掲 ■ 総合デザインセンターを中心とした総合的なデザイン開発・販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> ・総合デザインセンターを中心としたデザイン開発(再掲) デザインに関する研究開発・企業との共同研究 ■ 経営革新計画の策定・推進の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業経営革新支援事業(再掲) 新たな事業分野への進出等を行う経営革新計画の策定指導や計画推進の支援 	<p>2,664</p> <p>2,055</p> <p>1,115</p>
(3) 資金面の支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 融資制度の活用による資金調達の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業制度融資資金 中小企業者の円滑な資金調達を推進するための融資制度 ■ 信用保証制度の活用による資金調達の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・担保力や信用力の弱い中小企業を支援するため、信用保証協会の保証制度を活用し、中小企業の資金調達を支援 ・県融資制度に係る保証料の軽減や損失補償を実施 	<p>92,992,000</p> <p>76,416</p>
(4) 人材の育成と確保への支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規創業、新分野進出に取り組む企業経営者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援センター・創業移住促進住宅運営管理事業(再掲) 多くの起業家や移住者を呼び込み「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点となるよう管理運営 ・【拡】とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(再掲) スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘やハンズオン支援、県内企業・団体の機運醸成等を実施 ・スタートアップ支援事業(とやま中小企業チャレンジファンド事業)(再掲) 成長可能性の高い事業や社会課題に取り組むスタートアップを支援 ・スモールビジネス創業支援事業(再掲) スモールビジネス・コミュニティビジネスでの起業・新分野展開に必要な経費を助成 ■ 企業のものづくり人材養成への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・能力開発セミナー(一部) 企業ニーズを踏まえ、オーダーメイド型訓練(企業の希望に基づき個別メニュー作成)を実施 ・能力開発セミナー(高度技能人材育成講座) 熟練技能者の活用等により、技術専門学院における在職者セミナーの一部として 中小企業在職者のものづくり技能の向上を図る研修を実施 ■ 中小企業経営者等の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・とやま中小企業人材育成カレッジ事業 中小企業の経営者、管理者等を対象とした経営管理等に関する研修の実施 ■ 中小企業の事業承継の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継つなぐサポート事業 県内中小企業の事業承継計画の策定や企業価値の算出など事業承継に要する経費や、承継人材候補の視察に要する経費を補助するほか、経営者や後継者候補等を対象としたセミナーを開催 	<p>75,977</p> <p>61,000</p> <p>11,000</p> <p>8,148 の一部</p> <p>8,148 の一部</p> <p>9,940</p> <p>4,000</p>
(5) 建設業経営基盤安定への支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建設業の人材確保・育成等に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・若者と女性が輝く建設業支援事業 一建設業への女性の入職・定着を図るため、女性の働き方に配慮した取組みや労働環境整備を促進するとともに、将来を担う若手技術者の確保・育成につながる取組みを支援 一建設業のイメージアップ及び担い手の確保を図るため、事業者団体が実施する取組みを支援するとともに、建設業の魅力を発信するイベントを実施 ■ 建設業の経営力強化の取組みに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・地域を支える建設業経営力強化支援事業 建設企業の経営力強化の取組み(生産性向上、働き方改革、担い手確保等)に対する支援、中小企業診断士等による経営相談等 	<p>11,320</p> <p>9,870</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
県中小企業支援センター相談件数	909件	1,302件	公益財団法人富山県新世紀産業機構の中小企業支援センターにおいて、中小企業等が抱える経営上の問題に対して相談に応じた件数
地域資源の活用による新事業支援件数	239件 (R5)	233件	地域資源活用に関する事業計画の国認定件数と県ファンド(～H29)、チャレンジファンド地域資源活用事業(H30～)による助成決定件数の合計(支援制度創設の平成19年度からの累計)
農商工連携による新事業支援件数	125件 (R5)	126件	農商工連携に関する事業計画の国認定件数と県ファンドによる助成決定件数の合計(支援制度創設の平成20年度からの累計)
中小企業の海外販路開拓に対する助成件数	166件 (H22～ R5)	170件	とやま中小企業チャレンジファンド販路開拓挑戦応援事業等(国外分)による助成件数(平成22年度からの累計)
県創業支援センター相談件数(再掲)	98件	312件	県創業支援センターにおいて、相談に応じた件数(延べ件数)
建設企業からの相談件数	4件	20件	建設企業からの経営相談件数(アドバイザー派遣件数、経営相談窓口利用件数、電話・訪問による相談件数の合計)

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	7 デザイン力を高めた伝統工芸品産業の新展開とクリエイティブ産業の育成
政策目標	伝統工芸品産業をはじめ、幅広い産業分野において、デザイン性に優れ、高機能で、消費者の感性に合致した製品が数多く開発されるとともに、これらを担う、デザインを中心としたクリエイティブ産業・人材が集積していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 伝統工芸品などのデザインを活かした魅力的な商品の共同開発と販路開拓	■総合デザインセンターを中心としたデザイン活用商品の企画開発・共同研究 ・企業との共同研究、デザイン研究等	2,664
	■デザイン商品の販路開拓支援 ・富山プロダクツ選定事業 機能性・デザイン性に優れた「富山プロダクツ」の販路開拓支援	2,055
	■伝統工芸品のブランド化と販路開拓への支援 ・伝統工芸ミライ創造事業(再掲) 伝統工芸事業者が専門家の伴走支援により行う新商品開発・販路開拓を支援	9,300
	・とやま伝統工芸プロモーション戦略事業(再掲) 伝統工芸品の魅力PRと販路開拓のため、中国現地において交流サロンイベントを開催	2,501
(2) 国内外とのデザイン交流の促進	■デザイン先進地(イタリア・ミラノ等)との交流活動支援 ・富山・ミラノデザイン交流支援事業 イタリア・ミラノのバイヤーやデザイナー等との交流活動の支援による共同商品開発や新たなビジネスの創出の促進	1,922
	■とやまのお土産新ブランド創出による魅力発信 ・とやまのお土産新ブランド「美のこわけ」創出事業 北陸新幹線敦賀開業を見据え、新たなお土産のブランド化、販路開拓を推進	11,400
	■デザイナーと企業との交流促進 ・富山デザインウェーブ 富山デザインコンペティション、ワークショップ等を通じた全国のデザイナーとの交流促進やビジネスマッチング機会の提供	7,018
(3) デザイン人材の育成	■デザイン展等の開催支援 ・デザイン展開催事業 富山デザインフェア、高岡クラフトコンペ等のデザイン展開催支援	11,585
	■デザイン人材の育成 ・デザインセミナー開催事業 最新のデザイン製作技術やデザイン手法を学ぶ研修会・講習会の開催など	363
	・【拡】クリエイティブ人材教育・活用促進事業 県内外のデザイン系大学と連携したワークショップ等により、県内企業とデザイン系大学とのマッチングを支援するとともに、企業におけるデザイン思考実践の場を提供	4,400
(4) 伝統工芸品産業における希少な技法の継承等への支援	■技術の継承に対する支援 ・伝統工芸「匠の技術」継承支援事業補助金(再掲) 高い技術や希少な技術を有する「伝統工芸の匠」による技術の継承に対する支援	5,200
	・伝統工芸品産業支援事業 販路開拓への支援に加え、後継者育成のための人材育成に対して支援	6,500
	・伝統工芸技術継承支援補助金(再掲) 伝統的工芸品の産地組合の育成計画に基づき、継承者の技術習得を支援	1,800
(5) クリエイティブ産業の育成・集積	■クリエイティブ産業の育成 ・デザイン・クリエイティブ産業交流創造事業 県内のデザイナー・クリエイターとものづくり事業者等とのビジネスマッチングのためホームページでの情報発信を実施	451

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
デザイン相談件数	611件	700件	総合デザインセンターへのデザインに関する相談件数
富山デザインコンペティション応募点数	180点	260点	提案作品の商品化を目的とする「富山デザインコンペティション」の応募作品数
県内企業とのマッチングに参加する学生数	32名	20名	県内企業とのマッチング(ワークショップ等)に参加する、県内外デザイン系大学の学生数 ※バスツアーは2021年度で開催終了

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	8 商業・サービス業の振興と商店街の活性化
政策目標	地域の特色を活かした魅力あふれる商店街が賑わっているとともに、様々な分野での新しいサービス業が活発に展開されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) サービス業のイノベーション、生産性の向上	■ 経営のIT化やネットビジネスなどの促進支援 ・【拡】中小企業デジタル変革推進事業(再掲) 県内企業のデジタル技術を活用した企業変革を推進するため、企業向け講座の開催や優良事例動画による普及啓発、デジタル化相談窓口における伴走型支援を行う	30,100
(2) 魅力ある商店街づくりと人材の育成支援	■ 中心市街地活性化基本計画等の事業実施への支援 ・認定中心市街地支援事業 富山市、高岡市の中心市街地活性化基本計画に記載された活性化事業の推進を支援	15,000
	■ 商店街活性化の新たな取組みに対する支援 ・がんばる商店街支援事業 商店街が取り組む活性化のための事業をハード・ソフトにわたり幅広く支援	5,000
	■ 中小企業の事業承継の促進 ・事業承継つなぐサポート事業(再掲) 県内中小企業の事業承継計画の策定や企業価値の算出など事業承継に要する経費や、承継人材候補の視察に要する経費を補助するほか、経営者や後継者候補等を対象としたセミナーを開催	4,000
	・専門家派遣事業 専門家を派遣し、財務・経営・技術など経営課題に対して助言	8,414
	■ 様々な主体と連携した、まちなかエリア全体の活性化の促進 ・まちなか活性化応援モデル事業 個人やグループが実施する、商店街等の活性化につながる創意工夫を凝らした試行的な取組みを支援	3,500
(3) 新たなニーズ・課題に対応した商業・サービス業の振興	■ 地域課題に対応したサービスの振興 ・創業支援センター・創業移住促進住宅運営管理事業(再掲) 多くの起業家や移住者を呼び込み「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点となるよう管理運営	75,977
	・【拡】とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業(再掲) スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘やハンズオン支援、県内企業・団体の機運醸成等を実施	61,000
	・スモールビジネス創業支援事業(再掲) スモールビジネス・コミュニティビジネスでの起業・新分野展開に必要な経費を助成	11,000
	■ 新しいビジネスの促進 ・電子商取引市場参入支援事業 電子商取引市場への参入を促進するためのセミナーや販売力強化を図る講座を開催	2,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
県中小企業支援センターの相談件数(うち3業種計)	528件	774件	県中小企業支援センターの相談件数のうち、卸売業、小売業、サービス業者に対する相談件数
県創業支援センター相談件数(再掲)	98件	312件	県創業支援センターにおいて、相談に応じた件数(延べ件数)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	9 県内企業のグローバル展開への支援
政策目標	新たなビジネスチャンスを求めて、環日本海、アジア地域など幅広い地域において県内企業のビジネス展開や販路開拓が進むとともに、国際的な物流ネットワークが形成され、経済交流が拡大していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)海外ビジネスの展開の促進	<p>■海外販路開拓など国際化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外販路開拓商談会事業 県内企業の海外販路開拓を支援するため、アジア地域を中心に海外バイヤーを招へいし、商談会を開催 ・アメリカオレゴン州への職員派遣事業 MOUに基づく交流事業を円滑に推進するため、オレゴン州に県職員を派遣 ・【新】インド経済訪問団派遣事業 インドでのビジネス展開の拡大、アンドラプラデシュ州との経済交流等を促進するため、経済訪問団を派遣 ・【新】台湾半導体産業交流事業 台湾電子設備協会の富山県訪問団を受け入れ、台湾企業と県内半導体・電子デバイス関連企業等との経済交流を促進 ・ASEAN諸国等との経済交流促進事業 県内でのビジネスセミナーの開催を通じ、MOUを締結しているタイ・ベトナム・インドAP州等との経済交流を促進 ・ASEANビジネスサポートデスク設置事業 成長著しいベトナムへの県内企業の進出等を後押しする取組みにより、海外展開を促進 <p>■海外見本市への出展支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国外の見本市・展示会への出展、市場調査、海外マーケティングを支援 (販路開拓挑戦応援事業(とやま中小企業チャレンジファンド)) ・オンライン海外販路開拓伴走支援事業 本県における非対面・遠隔での販路開拓を加速化させるため、県内事業者の海外見本市へのオンライン参加や越境EC参入を支援 <ul style="list-style-type: none"> ①オンライン海外販路開拓支援セミナー等の実施 ②海外見本市やECモール出店等に係る経費に対する補助 (補助率:中小企業者1/2、小規模企業者2/3 上限50万円) ③伴走支援(専門家からのアドバイス、マッチング支援等) ④JETROのカタログサイトに富山県特設ページを開設 <p>■展示商談会の開催による商談機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】富山県ものづくり総合見本市開催準備事業 富山の誇るものづくり企業の技術や製品を広く国内外に発信するための大規模な見本市の開催準備 ・とやま産品展示販売事業 in China 中国で県産品のPR展示会等を開催し、日中の経済交流を促進 	<p>3,500</p> <p>16,856</p> <p>13,000</p> <p>1,200</p> <p>500</p> <p>9,000</p> <p>12,000</p> <p>7,500</p> <p>9,720</p>
(2)海外ビジネスにおけるサポートの充実	<p>■(公財)新世紀産業機構における情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア経済交流事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> －アジア経済情報ネットワーク事業 ホームページ・メールマガジン等により、アジア地域を中心とした海外ビジネス展開に関する情報を発信 －貿易・投資コンサルティング事業 アジア・環日本海諸国の経済に関する専門知識を有するアドバイザーを配置し、県内企業等に無料でコンサルティングを実施 －貿易・投資セミナーの開催等 －海外ビジネスサポートデスク事業 海外ビジネスアドバイザーを配置し、県内中小企業に対して、総合的な支援を実施 	25,695

(3)経済交流・物流ネットワークの整備・充実	■航路の充実 ・新規航路開拓調査 船会社に対し新規航路誘致活動を実施 ・SLBロシア欧州物流活性化事業 シベリア鉄道を利用した貨物輸送の利用促進によるロシア欧州物流の活性化 ①伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金(トライアル補助制度)(SLB特別枠) シベリア鉄道を利用した試行的な輸送実験に対して1/2助成 上限200万円 ②シベリア鉄道を利用した貨物輸送実験 ③SLB戦略アドバイザーを活用した企業訪問の強化 ④国内輸送費助成制度 シベリア鉄道を利用した貨物輸送について国内輸送費1/2を補助 (5万円/1TEUまで)、上限50万円	876
	■荷主企業奨励金等を活用した県内外からの集荷促進 ・【拡】伏木富山港利用促進事業 ①船社助成金:ガントリークレーン使用料、入港料・岸壁使用料(新規開設のみ) ②荷主企業奨励金 ○コンテナ貨物 シフト・新規、継続利用荷主 (新規・シフト) 初年度 1~2万円/TEU 上限200万円 2~5年度 1~2万円/TEU 上限100~200万円(増差分) (継続利用荷主) 2千円/TEU 上限200万円 (新規立地企業の特例) 1万円/TEU 3年間 ○コンテナ貨物 国内輸送費助成 新規・シフト貨物の国内輸送費1/3を補助(1万円/1TEUまで)、上限50万円 ○RORO船貨物(中古車以外) 1万円/20トン(又はm ³) 上限100万円(増差分のみ) ③伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金(トライアル補助制度) ○【通常枠】 新規荷主開拓を目的に試行的な輸送実験に対して1/2助成 上限100万円(内賃は20万円) ○【小口混載枠(荷主向け)】 新規荷主開拓を目的に試行的な輸送実験に対して1/2助成 上限20万円(内賃は4万円) ○【小口混載枠(物流業者向け)】 冷凍冷蔵小口混載輸送サービスの実施に対して収支(損失分)2/3助成 上限20万円 ④定期航路長期就航補助金 ⑤ものづくり企業輸出促進補助金 工業製品を輸出する荷主企業に対し梱包費用の一部を補助 輸出梱包1m ³ あたり5千円、上限50万円	25,960
	・新幹線沿線ポートセールス事業 伏木富山港現地視察会の実施、利用促進セミナーの開催 等	37,600
		5,000
(4)海外ビジネスを担う人材の確保	■海外ビジネスを担う人材の確保 ・アセアン地域等からの外国人留学生受入・定着促進事業(再掲) アセアン地域及びインドからの留学生の採用を希望する県内企業と連携した就職一体型の受入を実施 ・アジア高度人材受入事業 アジア諸国の理系大学生等理系大学の学生等の県内就職・活躍につなげるため、採用選考会や「富山就職プログラム(日本語研修等)」を実施するなど、採用から受入まで一体的に支援 ・【拡】外国人材採用・就職サポートデスク事業 県内企業の高度外国人材等の普及を促進するため、「外国人材活用支援デスク」において、企業の外国人材受入れを総合的に支援	12,545
		18,909
		3,800

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
海外販路開拓サポートデスクによる相談対応件数	236件	100件	富山県新世紀産業機構アジア経済交流センターの海外販路開拓サポートデスクによる相談対応件数
中小企業の海外販路開拓に対する助成件数(再掲)	166件 (H22~R5)	170件 (累計)	とやま中小企業チャレンジファンド販路開拓挑戦応援事業等(国外分)による助成件数
県内外企業への訪問件数(再掲)	1,303件 (H27~R4)	2,000件 (累計)	伏木富山港への貨物集荷、新規航路就航等を目的に、県内外企業を訪問した件数(2015(H27)~2026(R8)年度累計)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	10 雇用の確保と人材の育成
政策目標	意欲と能力に応じた多様な雇用の機会の確保と、本県産業の発展を支える人材の育成が図られ、誰もがいきいきと働いていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) UIJターンの推進等による人材還流	<p>■民間就職支援会社との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uターン人材マッチング促進事業 民間就職支援会社と提携し、情報提供やマッチングなどのUIJターン就職支援 ・富山版「プロフェッショナル人材・副業兼業人材確保プロジェクト」実施事業(再掲) 県プロフェッショナル人材戦略本部を拠点に、県内金融機関等と連携し、県内企業のプロフェッショナル人材や副業・兼業人材とのマッチングを支援 <p>■大学生等を対象とするセミナーなどの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏大学UIJターン就職パートナーシップ事業(再掲) 早稲田大学との就職支援協定による新規事業創造インターンシップの開催など県外大学との連携強化のほか、企業視察会等を実施 ・【拡】多様なインターンシップ導入支援事業(再掲) 大学1～2年生などの低年次から参加しやすい、魅力的なインターンシップの導入に向けた中小企業の取組みを支援 ・とやまUターン就職応援事業(再掲) 学生人気業界セミナー、就職女子応援カフェの開催や就職活動等に必要の交通費助成を実施 ・【新】「就活ラインとやま」情報発信強化事業 学生など若者に対して就職先としての県内企業の魅力を伝えるため、新たな企業情報プラットフォーム「就活ラインとやま」による情報発信を強化 ・【新】学生と企業の交流強化事業 県内への就職を促進するため、学生と県内企業が直接交流できる機会を提供 ・富山県理工系・薬学部生対象奨学金返還助成事業 本県産業の人材確保を支援するため、県内企業に就職する理工系・薬学部生の奨学金返還を助成 	<p>26,260</p> <p>42,400</p> <p>12,451</p> <p>13,610</p> <p>8,496</p> <p>17,000</p> <p>6,400</p> <p>6,114</p>
(2) 県内産業の発展や新しい働き方の導入による雇用創出	<p>■中小企業等における雇用の維持・安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山サテライトオフィス整備支援事業(再掲) 市町村と連携し、サテライトオフィス施設の整備を支援 ・誘致企業人材確保支援事業(再掲) 本県への進出前から進出後まで、一気通貫で誘致企業の人材確保を支援 ・富山「Re-Design」ラボ事業 首都圏などで活躍する人材が富山大学の協力研究員として半年間富山に住み、リカレント教育を受けながら県内企業の経営課題の解決に取り組むもの。企業支援や求職者支援を実施 	<p>5,800</p> <p>4,500</p> <p>4,000</p>
(3) 全ての人が活躍できる雇用環境の整備	<p>■高齢者の就業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやまシニア専門人材バンク事業 出張相談会等を行うなど、専門的知識・技術等を有する高齢者の就業と県内企業の人材確保を支援 <p>■女性活躍の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育て両立支援&女性活躍推進・中小企業支援事業(再掲) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定が努力義務となっている中小企業等に社会保険労務士を派遣するほか、企業向けの策定研修会を開催 ・働き方改革等の横展開推進事業(再掲) 「働き方改革・女性活躍サポーター」、「イクボス企業同盟とやま」、当課HP(Good!! Work & Lifeとやま)、デジタル広告を活用して働き方改革の横展開を促進する ・企業と従業員のウェルビーイング創出事業(再掲) 企業における働き方改革や女性活躍の取組みを促進するため、開催時期やテーマなどの希望に応じて専門の講師を派遣 ・【新】働き方改革・女性活躍サポート事業(再掲) 従業員のウェルビーイング向上に資する取組みや、生産性向上に向けた働き方改革や女性活躍に資する取組みを支援 ・【拡】企業成長×女性活躍プロジェクト推進事業(再掲) 企業における女性活躍の取組みを推進するため、企業経営者向けセミナーの開催や女性活躍専門コンサルタントを派遣するとともに、「とやま女性活躍企業」認定拡大に向けた支援を実施 ・【新】女性活躍企業誘致促進事業(再掲) 女性活躍の推進に積極的な企業に対する誘致プロモーションを実施 	<p>21,990</p> <p>3,854</p> <p>3,230</p> <p>2,970</p> <p>5,500</p> <p>7,900</p> <p>3,000</p>

	<p>■グローバル人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア高度人材受入事業(再掲) アジア諸国の理系大学生等理系大学の学生等の県内就職・活躍につなげるため、採用選考会や「富山就職プログラム(日本語研修等)」を実施するなど、採用から受入まで一体的に支援 ・【拡】外国人材採用・就職サポートデスク事業(再掲) 県内企業の高度外国人材等の普及を促進するため、「外国人材活用支援デスク」において、企業の外国人材受入れを総合的に支援 <p>■障害者雇用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用推進事業 障害者雇用推進員を配置し、障害者雇用制度の周知及び求人開拓等を実施 ・障害者雇用実務講座・雇用ゼロ企業セミナー開催事業 雇用ゼロ企業をはじめとした法定雇用率未達成企業に対し、労働局の指導と連携した講座などを開催 ・障害者チャレンジトレーニング事業 企業での障害者の就業体験を支援 ・障害者の一般就労トータルサポート事業 企業の障害者雇用担当者への個別支援、本人・家族等と企業との一般就労に係る交流会を実施 ・【拡】障害のある学生のチャレンジトレーニング等事業 障害のある学生に対し、一般企業におけるインターンシップ体験や短期の職場実習を通じた就職支援及び就職後の職場定着支援を実施 ・特例子会社等設立支援事業 特例子会社、特定組合等の設立に要する経費に対する補助 <p>■多様な職業訓練の機会の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援能力開発事業(一部) 民間教育訓練機関を活用し、障害者や育児等との両立のために配慮が必要な方等を対象とした職業訓練を実施 	18,909 3,800 2,729 3,500 3,749 3,800 6,600 3,000 335,377 の一部
(4) 人材ニーズの急速な変容に対応した人材育成	<p>■公共職業訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】技術専門学院リニューアル事業 県内中小企業への人材の供給強化に向け、技術専門学院において、産業界のニーズ等に対応した人材育成のための訓練環境を整備 ・就職支援能力開発事業 一民間教育訓練機関等を活用し、求職者を対象とした多様な委託訓練の充実 一人手不足分野(介護、保育、建設)、成長分野(情報)等の求人ニーズに対応したコースを設置 ・能力開発セミナー費(一部)(再掲) 企業ニーズを踏まえ、オーダーメイド型訓練(企業の希望に基づき個別メニュー作成)を実施 <p>■企業のものづくり人材養成への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材育成講座(一部) ものづくり企業の海外進出支援や海外ビジネス支援に係る在職者訓練コースを実施 ・現場の技術・技能伝承支援事業 技能者の改善・創意工夫の意識を定着させるための研修を実施 ・【拡】とやま人材リスキリング補助金事業【R5年度繰越】 県内企業が生産性向上のために行う従業員のリスキリングに対し、経費の一部を助成 <p>■技能の振興・技能尊重気運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり競技力向上支援事業 技能五輪等の各種全国技能競技大会に参加する学校、企業等に対する選手強化支援等及び上位入賞者への富山ものづくり技能奨励賞の授与 	251,900 335,377 8,148 の一部 8,148 の一部 9,000 12,000 1,323

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
富山くらし・しごと支援センターの新規登録者数	1,975人	3,400件	富山くらし・しごと支援センターの新規登録者数
障害者雇用推進員の訪問事業所数(累計)	3,192事業所	4,000事業所	障害者雇用施策の周知・啓発のため、障害者雇用推進員が訪問した事業所数(累計)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	11 意欲ある若い担い手の育成・確保と農業経営基盤の強化
政策目標	農地の集積による規模拡大など経営基盤の強化や、消費者ニーズに対応した収益性の高い園芸作物の産地化などが進展し、意欲ある担い手により、地域の特性を活かした収益性の高い農業が展開されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)意欲ある若い担い手の育成・確保	<p>■農業経営を支える人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】農業研修体制強化事業(再掲) 「とやま農業未来カレッジ」の定員拡充や園芸経営実践コース(仮称)の開講による研修体制の強化に向けた整備等を実施 ・【拡】青年農業者育成事業 「就農コーディネーター」を増員し、就農希望者をワンストップで支援する体制を強化 ・地域サポート体制支援事業 市町村が行う新規就農者の育成・確保に向けた取組みを支援 ・「とやまの産地で就農・定着」促進モデル事業 園芸産地に新規就農者を呼び込み、定着を図るため、園芸産地での新規就農者の受入体制づくりをモデル的に実施 ・新規就農者育成資金交付事業 新規就農者の確保と早期の経営確立のため、就農前研修期間中の生活安定及び就農後の経営確立に資する資金を交付 ・新規就農者機械導入支援事業 新規就農者向け農業機械・施設等の導入を支援(経営発展支援事業、就農スタートアップ支援事業) ・畜産施設継承円滑化事業 離農農家の牛舎等が新たな担い手に円滑に継承されるようマッチング等を支援 ・畜産担い手ナビゲート事業 畜産への就業意欲を高めるため、高校生を対象に「とやまの畜産体験研修」を実施 ・富山大学における農業経済学寄附講義開催事業 農業振興に関する継続的な研究・学びの場として、富山大学に農業経済学に係る寄附講義を設置 	<p>59,300</p> <p>27,000</p> <p>4,000</p> <p>6,000</p> <p>140,050</p> <p>105,000</p> <p>400</p> <p>461</p> <p>2,300</p>
(2)農地集積の促進や農業経営基盤の強化	<p>■力強い地域営農体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業 将来の農地利用の姿を明確化した「地域計画」の作成、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化、遊休農地の解消などの推進、機構集積協力金の交付未整備農地等の畦倒しなど、耕作条件の改善を図る取組みを支援 ・経営体育成支援事業 地域の中心経営体等に対し、機械・施設(トラクタ、田植機等)の整備を支援 ・担い手確保・経営強化支援事業 先進的な農業経営の確立に意欲的な担い手に対し、機械・施設(トラクタ、田植機等)の整備を支援 <p>■担い手の法人化など経営発展の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営者総合サポート事業 経営の規模拡大や複合化など発展に向けた経営の諸課題に関する相談窓口を設置するとともに、伴走支援を行う支援チームの編成や税理士等の専門家派遣等を実施 ・「次世代につなぐ集落営農」活性化総合支援事業 集落営農組織の活性化を図るため、労働力の確保と持続的な経営発展に向けたビジョン作成を促し、その実現に必要な農業機械等の整備経費や雇用者の人件費等を支援 ・【新】集落営農広域連携促進事業 集落営農組織の世代交代や若者の就業促進、少人数大規模経営などに取り組む広域連携組織のモデルづくりを支援 	<p>337,466</p> <p>150,000</p> <p>101,573 (R5補正)</p> <p>15,000</p> <p>78,000</p> <p>4,600</p>

(3)多様な園芸産地の育成	■園芸生産の振興 ・園芸収益力強化推進事業 産地の技術向上や販路拡大に向けた取組みを支援	12,000	
	・園芸産地スケールアップ事業 産地の規模拡大等に必要の省力機械等の導入や施設整備を支援	52,000	
	・未来型園芸生産団地モデル事業 畑地化とスマート農業機械の一体的導入による先駆的な生産性を高めるモデル産地の育成を支援	2,250	
	・農業支援サービス活用モデル事業 労力不足を解消するため、農業支援サービス等を利用した新しい労働力確保体制を確立する取組みを支援	4,000	
	・チャレンジファーム事業 新規生産者の受入れに向けた技術取得のための施設・機械導入や研修等の取組みを支援	25,500	
	・【新】「とやまテロワールベジ」創造支援事業 本県の気候・風土・伝統など土地の個性(テロワール)を活かした野菜等のブランディングとPR	4,000	
	・【新】「行政伴走型」園芸産地づくりモデル実証事業 基盤整備を進める「水橋地区」の園芸導入を促進するため、モデル経営体への伴走支援を実施	7,000	
	・次世代に向けたチューリップスマート団地支援事業 チューリップ球根生産の拡大のため、ネット栽培の普及拡大に向けた取組みを支援	4,000	
	・薬用作物産地確立支援事業 シャクヤクなど薬用作物の産地化を図るため、「販路拡大」、「栽培体系の確立」、「苗の安定確保」等の課題解決に取組み、薬用作物の生産拡大を支援	4,000	
	(4)生産性の高い農業の確立	■生産性の高い水田農業の推進 ・【拡】「富富富」生産振興対策事業 高温耐性品種「富富富」の生産拡大を図るため、栽培指導や乾燥調製施設の改修等を支援	82,400 (R5補正を含む)
・水田農業生産振興対策事業 水田農業の生産性向上や産地の収益力向上等のための施設・機械整備を支援		54,250	
■水田のフル活用の促進 ・園芸作物等産地収益力強化事業 水田をフル活用しつつ、地域特性を活かした園芸作物の産地拡大・収益力向上に向け、水田園芸拡大品目等の単収向上や作付拡大の取組みを支援		30,000	
■大豆の収量・品質向上対策と需要拡大の推進 ・麦・大豆生産体制強化支援事業 麦・大豆の生産性向上を図るため、先進的な営農技術の導入や農業機械等の整備などを支援		105,000	
■農業者への生産技術の普及指導 ・農業改良普及事業 農業に関する技術、経営管理、組織化、スマート農業の推進等の普及指導活動を実施		43,021	
■畜産物の安定供給の推進 ・「とやま和牛酒粕育ち」ブランド化推進事業 ブランドの普及・定着を図るため、PRイベントの開催、SNS等による情報発信、肉の分析調査や飼養環境の整備を支援		5,200	
・家畜伝染病防疫体制強化整備事業 家畜伝染病の農場への侵入及びまん延防止のため、危機管理体制を強化		13,141	

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
担い手による経営面積割合	68.8%	74%	県内の耕地面積に占める担い手の耕作面積割合
大規模経営体数(50ha以上)	160 経営体	200 経営体	農地の集積による大規模な経営体の数
水田フル活用率(耕地利用率)	95%	100%	水田フル活用を推進するため、作付延べ面積に占める大豆・大麦・園芸作物などの耕地利用の割合を本県独自に「水田フル活用率」として定義づけし指標とする(作物作付面積/農地面積)
園芸の作付面積の拡大	7 ha/年	100 ha/年	主食用米から園芸作物への転換を推進するため、新たに拡大した園芸作物の作付面積を指標とする。

■適正農業管理(GAP)の普及・推進

・持続的生産強化GAP拡大事業
とやまGAPの普及拡大と第三者認証GAPの取得や教育現場でのGAP推進を支援

3,900

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
水田汎用化面積(暗渠排水整備面積)	7,299ha	7,800ha	農地整備事業等により、暗渠排水整備を実施し、園芸作物等の選択的導入が可能となった水田面積
機能保全計画に基づいた水路整備延長	87km	87km	機能保全計画に基づいて整備する基幹的農業用排水路の整備延長
普及に移した開発技術数	22件	30件	農産物生産現場で活用を図る開発技術数(件/年度)
GAP認証取得経営体数	58 経営体	80 経営体	第三者認証のGAP(グローバルGAP、アジアGAP、JGAP)を取得した経営体数の累計数
6次産業化総合化事業計画認定件数	36件	40件	六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の認定件数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	13 食のとやまブランドの確立と地産地消、国内外の市場開拓
政策目標	美味しさや食文化など富山ならではの優れた食の魅力が広く認知され、消費者や実需者の支持のもと、そのニーズに応じて、県内や国内外での販路の開拓・拡大が進んでいること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)富山米新品種を中心とした「食のとやまブランド」の確立と認知度向上	■富山米のブランド力の促進 ・富富富戦略推進事業 県内・全国のファン獲得につながるよう、食べてもらう機会の創出などによる消費拡大や、中食・外食事業者の販売活動支援による需要拡大を推進 ・富山米ブランド力向上対策事業 富山米のイメージアップや販売プロモーション活動を支援 ・【拡】とやま米粉消費拡大推進事業 県産米粉を活用した商品の開発・販売拡大を支援するとともに、他県と連携した米粉消費拡大キャンペーンを実施	78,500 12,240 20,000
(2)首都圏市場などの国内市場の販路開拓	■とやまの食の魅力の発信 ・【新】食のブランド推進事業 とやま食文化懇談会を開催し、食を支えるヒト・モノ・技を発信 ・【拡】食の魅力発信事業 首都圏バイヤーに向けた県産食材等のプロモーション、オンライン商談の支援など	3,000 28,017
(3)地産地消の推進等による県産農林水産物等の需要拡大	■地産地消の推進 ・地産地消県民運動推進事業(再掲) 旬の食材の情報発信や地産地消キャンペーンの実施、応援団の活動支援など	11,195
(4)とやまの農林水産物等の輸出促進	■県産農産物等の海外市場開拓に向けた取組みの推進 ・【拡】とやまの農林水産物輸出促進事業 輸出に取り組む事業者間連携を促進し、地域商社を中心とした商流・物流の創出・拡大、個別事業者の発展段階に応じた支援等	125,900

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
「富富富」アンバサダー登録者数(累計)	5,076人	6,000人	富山米新品種「富富富」を一緒に応援する「富富富」アンバサダーへの登録者数
県外バイヤーとの商談会における商談数(累計)	1,370件	2,000件	県が主催する県外バイヤーとの商談会における累計商談数
富のおもちかえり商品の売上額	431万円	1億円	本県を訪れる観光客やビジネス客等にむけた魅力的なお土産として開発した「富のおもちかえり」商品の売上額

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	14 森林の整備と林業の振興、県産材の活用促進
政策目標	地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材が安定的に供給され、需要拡大が図られていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額	
(1)森林資源の循環利用と生産基盤の整備	■森林経営管理制度の円滑な実施 ・森林経営管理総合支援センター運営事業 森林経営管理制度の円滑な実施に向け、「森林経営管理総合支援センター」により、市町村の実情に応じ、支援 ・森林資源情報整備事業 富山県森林クラウドの運用保守等 ・【拡】富山県林業イノベーション推進総合対策事業 ICT等の活用による木材生産等の効率化、省力化を段階的に実証し、スマート林業を普及	1,100 416 16,904	
	■間伐等の森林整備の推進による健全な人工林の育成 ・造林事業 花粉発生源対策としてのスギ人工林の伐採・植替えや、森林吸収源対策の強化、国土強靱化に向けた間伐等の森林整備を計画的に実施 ・育種・育苗管理事業 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の増産に必要な施設等を整備 ・間伐材生産推進事業【一部R⑤11補正】 木材の安定供給のための搬出間伐を支援	340,000 9,108 11,912	
	■森林施業の集約化 ・森林整備地域活動支援交付金事業 森林施業の集約化及び計画的な森林施業の推進に必要な地域活動を支援	6,065	
	■林道や作業道の開設等林業生産基盤の整備 ・林道事業 林業の効率的な経営と森林の適正な維持管理を図るための林道の開設等を実施 ・路網整備推進事業【一部R⑤11補正】 森林整備に必要な路網整備を支援	1,110,000 235,220	
	■高性能林業機械の導入促進 ・高性能林業機械等整備助成事業【一部R⑤11補正】 県産材の生産促進のための高性能林業機械等の導入を支援	60,935	
	(2)県産材の安定供給体制の整備と木材の需要拡大	■需要者ニーズに対応した木材加工施設の整備 ・木材産業体質強化緊急対策事業 乾燥技術や労働環境改善のための研修会の開催を支援	2,055
		■住宅や公共施設、民間建築物への木材利用の推進 ・ウッド・チェンジ推進事業 官民連携による富山県ウッド・チェンジ協議会の運営、民間建築物での木材利用促進に向けた課題解決方策を検討 ・公共建築物等木材利用推進事業 設計者を対象とした木造建築に関する研修会等を開催	1,600 1,000
		・県産材利用促進事業(再掲) -県産材の活用を促進するため、公共施設及びPR効果の高い民間施設の木造化や木製品の導入等を支援 -木育を推進するため、県産材大型遊具の設置等の支援や木育イベントを実施	20,200
		・とやまの木で家づくり支援事業 県産材を使用した住宅の新築や増改築、フェンスへの支援	16,000
		・木材需要拡大推進事業 県産材を利用した建築物や設計の優良事例を表彰	700
■公共木造建築物の低コスト化を図るための木材製品等の開発 ・木材技術開発研究 公共施設における木造化技術を開発		20,847	

(3)林業事業体の経営 基盤の強化と担い手 の育成・確保	■森林経営や低コスト生産を担う人材の確保・育成 ・【拡】林業人づくり総合支援対策事業 林業担い手の確保・育成から労働環境の改善・定着までの支援、林業事業者が実施するイン ターンシップや労働安全衛生装備の導入を支援	50,825
	■林業事業体の経営基盤の強化 ・森林組合指導事業 森林組合の健全な発展に資するための研修会の開催等	95
	・林業・木材産業改善資金貸付事業 林業者等の経営改善のための無利子融資制度	27,770
	■農林水産公社の経営改善 ・農林水産公社(森林部)運営事業 農林水産公社(森林部)の経営安定のための支援	417,483
	・森林整備推進対策事業 農林水産公社の資源量調査等	11,152

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
作業道の開設延長(累計)	2,712km	3,127km	森林整備を促進するための作業道開設延長
公共建築物の木造率	21%	25%	1年間に県内で建設される公共建築物の総床面積に対する木造公共建築物の床面積の割合
現場技能者の養成者数	46名	70名	富山県林業カレッジで実施している現場技能習得に必要な短期研修を受講した人数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	15 水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上
政策目標	富山湾及びその周辺海域の多様な水産資源が持続的に利用され、豊かな食生活を支える安全で良質な水産物が供給されるとともに、富山湾のさかなのブランド力の向上により漁業経営が安定していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)持続可能な漁業の推進	■水産資源の適切な管理と生産性向上 ・資源管理・漁業経営安定対策推進事業、資源管理型漁業推進調査研究 資源管理・漁業所得補償制度を利用し、漁業者自らが定めた資源管理計画に基づく、水産資源の保護・管理の実践（対象魚種：ヒラメ、ベニズワイ等）、TAC（漁獲可能量）制度に基づく国、県等の連携による水産資源の保護と漁獲量の管理（TAC対象魚種：クロマグロ、マアジ、マイワシ、サバ類、スルメイカ、ズワイガニ等）	8,267
	・ホタルイカ来遊条件解明調査 日本海広域の環境データや採取データの分析等により、富山湾への来遊条件を研究し、漁況予測手法を改良	1,074
	・シロエビ等の持続可能な漁業推進調査 富山湾の海底谷外におけるシロエビの分布と成長及びシイラやアオリイカなどの成長と年齢推定を調査	1,942
	■つくり育てる漁業の推進 ・放流用種苗生産等事業 栽培漁業センターでの種苗生産・中間育成、放流の実施等	124,555
	・栽培漁業施設整備事業 栽培漁業センターの施設整備	1,914
	・キジハタ栽培漁業加速化事業 大規模生産施設においてキジハタ種苗を増産し、事業化に向けた取組みを加速化	10,408
	・アカムツ種苗生産加速化研究 次世代栽培漁業対象種であるアカムツの種苗生産の早期事業化を図るため、技術開発を加速化	7,786
	・【新】富山湾に適した磯根資源養殖技術向上研究 クロモ・ガゴメコンブ等の海藻類、イワガキ、ウニ類の生産技術向上と養殖の実証事業を実施	3,000
	■内水面資源の増養殖の推進 ・サケ稚魚放流事業 回帰率の向上を目指した健康な種苗の放流の実施等	24,000
	・守り育む内水面漁業環境づくり事業 カワウの被害対策を効果的に行うための講習等を実施	120
・サクラマス河川生態調査技術向上研究 サクラマスの資源評価に必要な科学的データの収集及び定量的な解析	1,500	
■漁場環境保全の推進 ・漁場環境調査 漁業者等と連携した沿岸漁場の水質監視調査、富山湾の漁場環境調査の定期的・継続的な実施等	3,692	
■「豊かな海づくり運動」の展開 ・海の森づくり事業 海づくり大会の「御手渡し魚（サクラマス、アワビ）」の小学校、高校等での飼育体験や漁業者、県民グループ等が行う藻場保全活動を支援	2,736	
(2)安全で良質な水産物の安定供給	■水産加工食品の新製品開発やブランド化の推進 ・各浜発のブランド魚の育成 各地域が推進するブランド化の取組みを支援	500
(3)「富山のさかな」のブランド化と販路拡大	■「富山のさかな」のブランド化と販路拡大の推進 ・食の魅力発信事業(再掲) 首都圏バイヤーに向けた県産食材等のプロモーション、オンライン商談の支援など	27,517
	■魚食普及の推進 ・県産魚学校給食普及事業 学校給食へ県産魚を提供	4,700
	・魚食普及推進事業 県内産魚介類の消費拡大事業等を支援	940

(4)担い手の育成・確保と経営基盤の強化	■担い手の育成・確保 ・漁業担い手確保育成対策事業 とやま漁業担い手センター(県農林水産公社に設置)の活動を支援 活動内容:就業希望者等の相談窓口の設置、求人・求職情報の収集・提供、漁業体験中期研修の実施等	2,800
	・「漁業経営等研修」委託事業 中核的な漁業者を対象に、漁業経営等に関する研修を実施	700
	■漁業協同組合の経営基盤の強化・育成指導 ・漁協経営強化・育成指導 漁協監事研修の取組み支援等	120
	■漁業経営の効率化・安定化 ・漁業金融等対策事業、沿岸漁業改善資金貸付事業 制度融資による必要な資金の融通、利子負担の軽減等 漁業近代化資金(設備)、沿岸漁業改善資金(設備)、漁業振興資金(運転)等	249,029
(5)漁港の機能充実	■漁港施設の整備 ・水産基盤整備事業 新湊漁港における防波堤の嵩上げ、拡幅などの漁港施設を整備	89,250
	■漁港施設の計画的な補修 ・水産基盤整備事業、市町営漁港漁場整備事業 防波堤、岸壁、物揚場、護岸などの漁港施設の計画的な保全対策	361,350

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
栽培対象魚種(ヒラメ)の放流尾数	262千尾	240千尾	滑川栽培漁業センターにおいて種苗生産し放流するヒラメ種苗の尾数
内水面増殖対象魚種(サケ)の来遊尾数	13千尾	100千尾	海面と内水面におけるサケの漁獲・捕獲尾数
「うまさ一番 富山のさかな」キャンペーン協力店数	1,321店	1,700店	「うまさ一番 富山のさかな」キャンペーン協力店の登録数(年度末時点) ※キャンペーン協力店・・・富山のさかなを提供している飲食店や鮮魚店等
若手就業者(40歳未満)の構成割合	28.5% (H30)	34%	若手就業者(40歳未満):満15歳以上40歳未満で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者 現況:数値は5年毎に公表
保全対策を実施した漁港施設の延長	5,881m	8,000m	水産庁の補助事業による漁港施設の保全対策工事実施済み延長の累計 目的:施設の長寿命化と更新コストの平準化・縮減を図る。 対象施設:防波堤、岸壁、物揚場、護岸、橋梁など

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	16 北陸新幹線の早期全線開業による新ゴールデンルートの形成
政策目標	北陸新幹線の大阪までの早期全線整備の促進により、北陸経由で首都圏と関西圏を結ぶ「新ゴールデンルート」の形成が進むとともに、陸・海・空の交通基盤の整備により本県の拠点性が大きく高められ、人や物の交流が活発になっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)北陸新幹線の大阪までの早期全線整備の促進	■敦賀・新大阪間の早期着工、大阪までの全線整備の促進 ・北陸新幹線等建設促進費 建設促進のための要請活動等の実施	7,857
(2)本県の拠点性の向上につながる陸・海・空の交通基盤の整備の推進	■高速道路の整備促進 ・高速道路建設促進費 東海北陸自動車道、能越自動車道の建設促進 ■航空ネットワークの維持・充実 ・ANAと連携した国内線の利用促進(再掲) ANAとの包括連携協定に基づき、西日本及び札幌を重点としたプロモーションや、個人向け搭乗キャンペーン等を実施し、誘客促進を図る。 ・富山空港サポーターズクラブ強化事業(再掲) 会員への特典付与や利便性向上のためのアプリ運用 ・富山きとさと空港レンタカーキャンペーン事業(再掲) 国内線利用者のレンタカー利用に対する助成 ・【新】パスポート取得促進事業(再掲) 県民のパスポートの取得を促進するとともに、富山空港の利用を図るため、取得費用の一部を助成 ・【新】台北便アウトバウンド利用促進事業(再掲) 台北便の定期便再開に向け、旅行会社向けのアウトバウンドセミナーの開催や旅行商品造成に必要な経費を支援 ・【新】インバウンド空港交通アクセス等向上事業(再掲) 国際線を利用して来県する旅客の交通アクセスやおもてなしによる満足度向上を図るため、富山空港から富山駅へ直行する無料バスを運行 ・航空新規路線開拓事業(再掲) 富山空港の新規需要の開拓及び利用促進を図るため、チャーター便の運航支援を実施 ・【新】ビジネスジェット利用誘客推進事業 ビジネスジェットを利用する富裕層向け旅行会社や運行会社等に対するエアポートセールスを実施 ・【新】富山空港民間活力導入事業(再掲) 富山空港における「混合型コンセッション」の導入に向け、運営事業者の選定に必要な手続きを実施 ・臨港道路伏木外港1号線の整備等 ・【新】港湾関連用地造成事業 港湾における輸送活動の増進を図り、これらの活動を支援する施設のための用地を整備	705 30,500 7,650 3,500 21,900 3,800 18,660 3,000 6,000 61,000 1,462,000 の一部 439,000

(3)国内外から人や物の流れを呼び込み定着させるための取組みの推進	■優れた立地環境のPR ・企業立地セミナーの開催(再掲) 大都市圏の企業の投資担当責任者等を対象に本県の優れた立地環境をPR	2,150
	■企業立地助成制度の整備 ・企業立地助成金(再掲) 製造業、ソフトウェア業等の新規立地・増設、県外からの本社機能移転又は研究開発拠点の拡充に対し、助成金を交付	1,202,000
	■UIJターンの推進等による人材還流 ・富山サテライトオフィス整備支援事業(再掲) 市町村と連携し、サテライトオフィス施設の整備を支援	5,900
	・誘致企業人材確保支援事業(再掲) 本県への進出前から進出後まで、一気通貫で誘致企業の人材確保を支援	4,500
	・とやまUターン就職応援事業(再掲) 学生人気業界セミナー、就職女子応援カフェの開催や就職活動等に必要な交通費助成を実施	8,496
	・大都市圏大学UIJターン就職パートナーシップ事業(再掲) 早稲田大学との就職支援協定による新規事業創造インターンシップの開催など県外大学との連携強化のほか、企業視察会等を実施	12,451
	・富山“Re-Design”ラボ事業(再掲) 首都圏などで活躍する人材が富山大学の協力研究員として半年間富山に住み、リカレント教育を受けながら県内企業の経営課題の解決に取り組む。企業支援や求職者支援を実施	4,000
	・【拡】多様なインターンシップ導入支援事業(再掲) 大学1～2年生などの低年次から参加しやすい、魅力的なインターンシップの導入に向けた中小企業の取組みを支援	13,610
	・富山版「プロフェッショナル・副業兼業人材確保プロジェクト」実施事業(再掲) 県プロフェッショナル人材戦略本部を拠点に、県内金融機関等と連携し、県内企業のプロフェッショナル人材や副業・兼業人材とのマッチングを支援	42,400
	■富山暮らしの魅力発信による移住の促進 ・富山くらし・しごと支援センター運営事業(再掲) 富山くらし・しごと支援センター(東京有楽町・大手町、大阪、名古屋、富山)におけるくらしとしごとのワンストップ相談体制の充実等、Uターン就職や移住の促進	63,682
・【拡】とやま移住魅力発信・強化事業(再掲) 移住検討者には選ばれる県となるよう、満足度の高いイベント開催や相談窓口等でのVR導入などにより、本県の魅力を効果的に発信	22,000	
■広域的な観光周遊ルートの開発・形成の促進 ・ビジット・トヤマ広域連携強化事業(再掲) 東アジア、東南アジア、欧米豪の各市場ごとに、国や近隣自治体と連携した観光プロモーションを実施	26,740	

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
北陸新幹線(金沢・敦賀間)の工事着手率	100%	(開業済み)	北陸新幹線(金沢・敦賀間)の令和5年度末までの開業に向けた工事着手率
利用促進PRイベントの開催回数(再掲)	4回	36回	富山きとときと空港の利用促進のために行ったPRイベントや説明会の開催回数
企業立地セミナーの参加者数(再掲)	4,211人 (H23～R5)	5,000人	企業立地セミナー参加者数(累計)

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	17 新幹線の開業効果の持続・深化と三駅を核とする広域交流等の促進
政策目標	観光客やビジネス客の大幅な増加など北陸新幹線の開業効果が持続・深化しているとともに、本県の玄関口である3つの新幹線駅を核として交通ネットワークが充実し、広域交流が活発になっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)新幹線開業効果の持続・深化	<p>■交通事業者、大手旅行会社等と連携したプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR連携富山ファン創出事業(再掲) JRと連携した情報発信や誘客事業を実施 ・北陸三県通年誘客キャンペーン事業(再掲) 北陸三県やJR等との連携による通年での誘客キャンペーンの実施 ・北陸三県誘客促進連携協議会負担金(再掲) 北陸地域における広域観光を推進するため、北陸三県とJR等が連携して観光キャンペーンや観光情報の発信を実施 ・【拡】北陸デスティネーションキャンペーン推進事業(再掲) 令和6年10月からの北陸デスティネーションキャンペーンにおいて、北陸三県やJR等と連携し、観光誘客の促進や、旅行者の満足度向上の取組みを実施 ・北陸三県連携プロモーション事業(再掲) 大手旅行会社による誘客キャンペーンやマスメディアを活用した情報発信など様々なプロモーションを展開 <p>■首都圏等における積極的な移住促進のための取組みの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援金の交付事業 東京23区からの移住者に対し、国・市町村と連携し支援金を交付 ・富山くらし・しごと支援センター運営事業(再掲) 富山くらし・しごと支援センター(東京有楽町・大手町、大阪、名古屋、富山)におけるくらしとしごとのワンストップ相談体制の充実等、Uターン就職や移住の促進 <p>■販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本市等共同出展支援事業 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)(再掲) 共同受注等の獲得を目的とした大規模見本市への共同出展を支援 <p>■地域の活性化や魅力ある地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線延伸効果促進事業 新幹線駅を中心とした賑わいづくりや新幹線沿線における県内沿線地域等のPR事業を支援 	<p>27,900</p> <p>10,000</p> <p>3,000</p> <p>27,500</p> <p>20,000</p> <p>90,960</p> <p>63,682</p> <p>4,000</p>
(2)首都圏等での情報発信	<p>■首都圏メディア等への魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏魅力発信強化事業 本県の物産・観光、移住・定住促進情報等を効果的かつ総合的に発信するため、首都圏メディア向けPRや、首都圏における魅力発信企画を実施 <p>■日本橋とやま館での本県の多彩な魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏とやまの魅力発信事業(再掲) 首都圏情報発信拠点等を活かしたイベントの開催など、本県独自の魅力について情報発信 ・首都圏観光・定住促進事業(再掲) 首都圏情報発信拠点を活用し、観光・定住に関する相談や情報提供を実施 ・首都圏起点の全国マーケティングin日本橋とやま館事業(再掲) 参加体験型の企画や、首都圏パイヤーと県内事業者の関係構築を強化 	<p>6,500</p> <p>27,374</p> <p>13,242</p> <p>5,500</p>
(3)新幹線駅とその周辺の活性化及びアクセス道路等の整備促進	<p>■富山駅周辺南北一体化を図る連続立体交差事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山駅付近連続立体交差事業 富山地方鉄道本線の高架化に向けた整備推進 <p>■新幹線へのアクセスが向上する道路の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山駅周辺へのアクセス道路等を整備 	<p>2,400,000</p> <p>1,477,000 の一部</p>

(4)広域交通ネットワークの充実	■主要駅・空港と観光地等を結ぶバス等の運行支援 ・ぐるっと富山観光地アクセス充実事業(再掲) 県内の新幹線駅・空港と観光地を結ぶ観光路線バスやツアーバスの運行を支援 ・新幹線アクセス路線バス等運行支援事業 新幹線駅からあいの風とやま鉄道駅等へのアクセス交通に対する支援	24,600
	■高山本線の利便性向上 ・高山本線利用促進PR事業 高山本線強化促進同盟会において利用促進事業を実施	4,000
(5)北陸新幹線「新高岡駅」「黒部宇奈月温泉駅」の利用促進	■市町村等が行う駅を中心とした賑わいづくりに資する事業等への支援 ・新幹線延伸効果促進事業(再掲) 新幹線駅を中心とした賑わいづくりや新幹線沿線における県内沿線地域等のPR事業を支援	300
		4,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
日本橋とやま館の会員数(再掲)	10,842人	15,000人	首都圏に在住する富山ファンの中核となる日本橋とやま館の会員数
富山駅付近連続立体交差事業(あいの風とやま鉄道線等)の事業進捗率	68%	88%	富山駅付近連続立体交差事業における、あいの風とやま鉄道線及びJR高山本線の高架化工事事業費総額に対する当該年度までの累計予算額の割合

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	18 あいの風とやま鉄道の利便性の向上
政策目標	県内を東西に走る幹線鉄道であるあいの風とやま鉄道の経営の安定と利便性が確保され、将来にわたり、多くの県民の身近な生活路線として、通勤、通学等の交通手段が確保されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)経営安定への支援	■並行在来線の安定経営の確保 ・あいの風とやま鉄道施設整備等事業 初期投資及び開業後投資のうち、出資金充当額を除くR6年度の必要額を補助 ・富山県並行在来線経営安定基金補助金 乗継割引の実施等に伴う支援 ・富山県並行在来線経営安定基金への拠出 利用者の利便性の確保と運営会社の経営安定化に資するため基金を造成	35,000 488,000 661,000
(2)利便性の向上とマイレール意識醸成への支援	■並行在来線の利便性の維持・向上 ・北陸三県並行在来線周遊促進事業 北陸新幹線敦賀開業を記念したキャンペーンを北陸三県が連携して実施し、並行在来線を活用した北陸三県の周遊を促進 ■県民のマイレール意識の向上 ・あいの風とやま鉄道利用促進協議会運営費 県民のマイレール意識の醸成や利用促進を推進 ■富山駅周辺南北一体化を図る連続立体交差事業の推進 ・富山駅付近連続立体交差事業(再掲) 富山地方鉄道本線の高架化に向けた整備推進	12,000 768 2,400,000
(3)新駅設置と周辺まちづくり等への支援	■新駅設置と周辺まちづくり等への支援 ・新富山駅周辺のまちづくりに向けて民間事業者が進めている開発工事に対し、利用者の利便性向上の観点から必要に応じて助言	

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
富山県並行在来線経営安定基金への拠出額(累計)	20.1億円	30億円	経営計画概要に基づき、富山県並行在来線経営安定基金に県が拠出した累計額
新型車両(521系)の導入数	22編成	22編成	新型車両(1編成:2両)の導入数
駅設置数	21駅	21駅	あいの風とやま鉄道線における駅設置数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	19 高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備
政策目標	高速道路から身近な生活道路に至るまで、安全で快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流が活発になっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)高速道路ネットワーク等の整備と活用	<ul style="list-style-type: none"> ■高速道路の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路建設促進費 東海北陸自動車道、能越自動車道、中部縦貫自動車道等の建設促進 ■高規格道路の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・道路新設改良費 富山高山連絡道路、富山高岡連絡道路、高岡環状道路、富山外郭環状道路の整備促進 ■高速道路における追加ICの整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・能越自動車道(仮称)福岡PAICの整備促進 	705 11,845,000 の一部
(2)地域の活力を育む幹線道路や身近な生活道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■県内各地域を結ぶ体系的な道路ネットワークの整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・道路新設改良費、街路事業 市町村間を連絡する道路、新幹線駅・港湾等の物流拠点や主要観光地へのアクセス道路等の地域の骨格となる幹線道路の拡幅やバイパス整備、日常生活に密接に関わる生活道路における局部改良などの実施 ■幹線道路の渋滞対策や事故の多い交差点等の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・道路新設改良費、街路事業、道路維持費 朝夕を中心に渋滞の激しい交差点のレイアウト変更や、事故危険箇所において交通安全施設等の整備 ■通学路等の安全な歩行空間・自転車走行空間の確保や歩道のバリアフリー化 <ul style="list-style-type: none"> ・道路新設改良費、街路事業、道路維持費 通学路や鉄道駅周辺等において、歩道、自転車歩行者道等の交通安全施設の整備や歩道のバリアフリー化の推進 ■県外からの来訪者等にも分かりやすい案内標識の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・県単独交通安全施設整備費 新幹線駅やICから観光地までの主要路線において、道路案内標識や施設案内標識の充実 	18,400,000 の一部 22,957,000 の一部 22,957,000 の一部 583,000 の一部
(3)既存道路施設の長寿命化や災害に強い道路ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ■橋梁の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化 <ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう維持費 橋梁長寿命化修繕計画に基づく計画的・予防保全的な維持管理の推進 ■災害に強い道路ネットワークの整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・道路新設改良費、道路維持費 橋梁の耐震化や、道路の落石・法面崩壊等に対する道路施設の整備 	519,000 の一部 8,709,000 の一部

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
高規格道路の整備延長	190.9km	189.1km	高規格道路(高速自動車国道、一般国道自動車専用道路、地域高規格道路)の供用済み延長
歩道の整備延長	1,113km	1,143km	県管理道路において歩道が設置(片側以上)されている道路実延長

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	20 日本海側総合的拠点港としての伏木富山港の機能強化
政策目標	環日本海地域やアジアの交流・物流拠点として、港湾機能やネットワークの充実が図られ、国内外との人、モノの交流が活発になっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 港湾機能の充実	<p>■臨港道路など港湾へのアクセス道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伏木地区臨港道路伏木外港1号線等 <p>■既存港湾施設の長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伏木地区伏木港陸橋の長寿命化等 <p>■緑地など港湾環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伏木富山港における緑地整備 <p>■港湾機能の強化に資する港湾関連用地等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】港湾関連用地造成事業 港湾における輸送活動の増進を図り、これらの活動を支援する施設のための用地を整備 <p>■カーボンニュートラルポートの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】水素等の受入に必要な設備・体制を調査 <p>■港湾計画の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】港湾計画の改訂に向けた調査・検討を実施 <p>■太平洋側主要港湾の代替機能の一翼を担う物流機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伏木富山港災害時物流機能確保事業 災害時における物流機能を確保するための協力体制の構築等 	<p>1,462,000 の一部</p> <p>1,462,000 の一部</p> <p>1,462,000 の一部</p> <p>439,000</p> <p>25,300</p> <p>40,000</p> <p>88</p>
(2) 環日本海地域やアジアとの物流の活性化	<p>■荷主企業奨励金等を活用した県内外からの集荷促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】伏木富山港利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ①船社助成金:ガントリークレーン使用料、入港料・岸壁使用料(新規開設のみ) ②荷主企業奨励金 <ul style="list-style-type: none"> ○コンテナ貨物 シフト・新規、継続利用荷主 〈新規・シフト〉 初年度 1~2万円/TEU 上限200万円 2~5年度 1~2万円/TEU 上限100~200万円(増差分) 〈継続利用荷主〉 2千円/TEU 上限200万円 〈新規立地企業の特例〉 1万円/TEU 3年間 ○コンテナ貨物 国内輸送費助成 新規・シフト貨物の国内輸送費1/3を補助(1万円/1TEUまで)、上限50万円 ○RORO船貨物(中古車以外) 1万円/20トン(又はm³) 上限100万円(増差分のみ) ③伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金(トライアル補助制度) <ul style="list-style-type: none"> ○【通常枠】 新規荷主開拓を目的に試行的な輸送実験に対して1/2助成 上限100万円(内賃は20万円) ○【小口混載枠(荷主向け)】 新規荷主開拓を目的に試行的な輸送実験に対して1/2助成 上限20万円(内賃は4万円) ○【小口混載枠(物流業者向け)】 冷凍冷蔵小口混載輸送サービスの実施に対して収支(損失分)2/3助成 上限20万円 ④定期航路長期就航補助金 ⑤ものづくり企業輸出促進補助金 工業製品を輸出する荷主企業に対し梱包費用の一部を補助 輸出梱包1m³あたり5千円、上限50万円 ・新幹線沿線ポートセールス事業 伏木富山港現地視察会の実施、利用促進セミナーの開催 等 <p>■「直行・多頻度・定時」の航路開設に向けた取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SLBロシア欧州物流活性化事業 シベリア鉄道を利用した貨物輸送の利用促進によるロシア欧州物流の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ①伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金(トライアル補助制度)(SLB特別枠) シベリア鉄道を利用した試行的な輸送実験に対して1/2助成 上限200万円 ②シベリア鉄道を利用した貨物輸送実験 ③SLB戦略アドバイザーを活用した企業訪問の強化 ④国内輸送費助成制度 シベリア鉄道を利用した貨物輸送について国内輸送費1/2を補助(5万円/1TEUまで)、 上限50万円 ・新規航路開拓調査 船会社に対し新規航路誘致活動を実施 	<p>37,600</p> <p>5,000</p> <p>25,960</p> <p>876</p>

(3)クルーズの振興	■クルーズ客船の誘致による環日本海クルーズの振興 ・クルーズプロモーション強化事業(再掲) 伏木富山港へのクルーズ船誘致を促進するため、コロナ後も引き続き、継続的に船社訪問・招請など戦略的なプロモーション・誘致活動を実施	8,820
(4)港のにぎわいづくり	■にぎわいのあるウォーターフロントの創出 ・富岩運河緑地の遊歩道整備等 ■富岩水上ラインの運航 ・環境に配慮した電気船の4艇体制で安全・安心に配慮し運航 ・船舶の適切な保守整備等を実施	1,462,000 の一部 4,822

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
伏木富山港の取扱貨物量	7,176 千トン	6,997 千トン	伏木富山港の年間取扱貨物量
県内外企業への訪問件数	1,303件 (H27～ R4)	2,000件 (累計)	伏木富山港への貨物集荷、新規航路就航等を目的に、県内外企業を訪問した件数(2015(H27)～2026(R8)年度累計)
クルーズ船社、旅行会社等の訪問件数	19件	65件	伏木富山港へのクルーズ客船誘致を目的に、国内外のクルーズ船社、旅行会社等を訪問した件数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	21 国内外との航空ネットワークの維持・充実と空港の活性化
政策目標	環日本海地域やアジアの交流・物流拠点として、空港機能や航空ネットワークの充実が図られ、国内外との交流が活発になっているとともに、富山きときと空港が地域の拠点として賑わっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)国内航空ネットワークの維持・充実	■定期路線の維持拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・ANAと連携した国内線の利用促進 ANAとの包括連携協定に基づき、西日本及び札幌を重点としたプロモーションや、個人向け搭乗キャンペーン等を実施し、誘客促進を図る。 ・富山空港サポーターズクラブ強化事業 会員への特典付与や利便性向上のためのアプリ運用 ・富山きときと空港レンタカーキャンペーン事業 国内線利用者のレンタカー利用に対する助成 	30,500 7,650 3,500
(2)国際路線の維持・拡充	■定期路線の維持拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・【新】パスポート取得促進事業 県民のパスポートの取得を促進するとともに、富山空港の利用を図るため、取得費用の一部を助成 ・【新】台北便アウトバウンド利用促進事業 台北便の定期便再開に向け、旅行会社向けのアウトバウンドセミナーの開催や旅行商品造成に必要な経費を支援 ・【新】インバウンド空港交通アクセス等向上事業 国際線を利用して来県する旅客の交通アクセスやおもてなしによる満足度向上を図るため、富山空港から富山駅へ直行する無料バスを運行 ・航空新規路線開拓事業 富山空港の新規需要の開拓及び利用促進を図るため、チャーター便の運航支援を実施 	21,900 3,800 18,660 3,000
(3)空港の利便性の向上や活性化	■小型機の実受入れ促進 <ul style="list-style-type: none"> ・【新】ビジネスジェット利用誘客推進事業 ビジネスジェットを利用する富裕層向け旅行会社や運行会社等に対するエアポートセールスを実施 ■民間資金を活用した富山空港の機能の向上、サービスの拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・【新】富山空港民間活力導入事業 富山空港における「混合型コンセッション」の導入に向け、運営事業者の選定に必要な手続きを実施 	6,000 61,000
(4)空港施設等の適切な維持管理と計画的な更新	■空港施設の更新 <ul style="list-style-type: none"> ・富山空港整備費 滑走路の更新、航空灯火施設の更新 	282,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
富山きときと空港サポーターズクラブ会員数(累計)	個人:8,107人 法人:402社	個人:6,000人 法人:480社	富山きときと空港の航空ネットワークの充実、維持活性化のために積極的に航空利用・PR協力をする会員組織の会員数(法人・個人)
利用促進PRイベントの開催回数	4回	36回	富山きときと空港の利用促進のために行ったPRイベントや説明会の開催回数
空港内でのイベント開催件数(累計)	88回	310回	富山きときと空港賑わい創出のために開催されたイベントの回数
滑走路更新延長(更新済延長)	977m	2,000m	富山きときと空港滑走路の舗装更新延長

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	22 行政情報のオープンデータ化とWi-Fi環境等の整備促進
政策目標	県が持つ統計データ等の情報がオープンデータ化され、民間との連携により地域課題の解決が図られるとともに、超高速ブロードバンドやWi-Fi環境の整備が進められ、防災・観光情報の提供や教育分野においてICTが積極的に活用されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 新技術の導入による行政サービスの効率化、県が持つ情報等のオープンデータ化	■ 行政情報サービスの効率化の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ・DX・働き方改革推進事業 民間の専門人材を配置するDX・働き方改革推進本部を設置し、部局横断でDX・働き方改革を推進 	1,600
	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的広報広聴事業 R4年度の調査・実証に基づき、県公式LINE上に構築した「デジタル窓口」を活用し、UI・UXの向上や利用者の属性に応じた情報発信等による広報広聴機能を強化 	10,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティング推進事業 デジタルマーケティングを活用した戦略的な情報発信を推進するため、階層別の職員研修や専門家による助言等を実施 	5,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・電子契約推進事業 R4年度に導入した電子契約により、契約手続きの押印廃止やペーパーレス化を推進 	99
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続オンライン化事業 手続きのオンライン化の支障となる事由が解消された手続きから、順次電子申請対応を進めるとともに、電子化事例を県庁内に展開し、行政手続きの電子化を促進 	2,932
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きの電子納付化事業 「申請から納付まで一貫してデジタルで完結する」行政手続きのオンライン化を推進するため、使用料・手数料の電子納付を順次拡大 	5,252
	<ul style="list-style-type: none"> ・新グループウェアの運用 新グループウェアの諸機能(チャット、Web会議等)を活用し、①コミュニケーション円滑化、②部局横断の情報共有/ペーパーレス化、③場所や時間を選ばない働き方への対応等、県庁の働き方や組織文化の改革を推進 	185,558
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援AIチャットボット運用事業(再掲) 子育て世帯がスマートフォンから手軽に子育て支援情報を入手でき、また相談体制の充実を図るため、令和4年度に導入した子育て支援AIチャットボットの運用管理 	2,628
	<ul style="list-style-type: none"> ・県HP等におけるAIチャットボットの運用 県トップページ、自動車税、移住や富山マラソンなどの業務に導入しているAIチャットボットの運用管理 	5,676
	<ul style="list-style-type: none"> ・RPA導入・保守及び職員による内製化推進事業 庁内の定型業務に対してRPAの活用を検討し、簡易な実装については職員が内製化 	2,709
	<ul style="list-style-type: none"> ・【拡】AI-OCR・RPAによる会計事務の自動化事業 本庁に導入したAI-OCRとRPAを活用し、簡易・定型的な支払書類を自動作成する仕組みを、出先機関に展開 	8,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】会計年度任用職員人事給与システム導入事業 会計年度任用職員の給与計算業務の一括管理が可能となるシステムを導入 	62,700
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】収入証紙制度の見直しに伴うキャッシュレス端末の導入 収入証紙の廃止に伴い、電子納付によらない窓口での納付方法としてキャッシュレス端末を導入 	8,877
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】入札参加資格管理システムの電子申請対応改修 事業者からの入札参加資格申請を電子化するため、入札参加資格管理システムを改修 	4,990
	<ul style="list-style-type: none"> ・DX人材育成プログラム事業 DX施策を推進するため、職員の役割等に応じたセミナーや育成プログラム、講座を実施 	11,943
	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル人材による市町村DX支援事業 自治体のデジタル化やシステム調達などの知見を有する専門人材を配置し、市町村のDX推進を支援 	10,260
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】生成AI活用業務支援システム整備事業 職員の業務を効率化し、付加価値の高い業務へ注力する環境を整備することで、県民サービスのさらなる向上を図るため、生成AIを活用した業務支援システムを整備 	40,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】文化・スポーツ施設の予約システム導入推進事業(再掲) 県内の文化・スポーツ施設の予約の利便性向上に向け、希望する市町村と共同調達により予約システムを導入 	16,800
	■ データ利活用の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】サービス連携プラットフォーム利活用推進事業 県民向けアプリ・サービス利用者の利便性向上や事業者・自治体の事務負担・コスト負担軽減を図るため、「サービス連携プラットフォーム」の利活用を推進 	48,420
	<ul style="list-style-type: none"> ・【拡】「データ連携基盤」利活用推進事業 データ連携基盤を用いてデータ利活用による利便性向上や地域課題の解決、ニュービジネス創出を図るため、県のデータや外部の有益なデータを引き続き基盤に蓄積し、データ利活用を推進 	39,800
	<ul style="list-style-type: none"> ・人流データ活用推進事業 人流データを共通利用できる環境を整備し、観光・防災・交通など、様々な分野においてデータを活用した施策立案・実施を推進 	2,400
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】森林資源オープンデータ整備事業 県が保有する森林情報の利活用を促進するため、航空レーザ測量による高精度な森林資源情報等のオープンデータ化を実施 	3,500
<ul style="list-style-type: none"> ・【新】郷土歴史資料活用・保全デジタル化事業 公文書館所蔵史料のデジタル化を推進し、デジタルアーカイブの充実と利用促進を図る 	6,500	

	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】Webマーケティングによるデジタル情報発信事業 観光情報サイト「とやま観光ナビ」を活用したWebマーケティングを行い、戦略的なデジタル情報の発信を公開 ・【新】車検受託事業者用納税状況確認システムの導入 車検受託事業者がインターネットを利用して自動車税の納税状況を確認することができるシステムを導入 <p>■医療機能情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システム運営費 「とやま医療情報ガイド」(HP)において、県内医療機関の医療機能情報を提供 ・【新】ナースセンターデジタル化推進事業 富山県ナースセンターの利用者の増加を図るため、デジタル化を推進し利便性を向上 <p>■ICTを活用した健康寿命の延伸及び医療費適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】ICTを活用した脳卒中等医療情報ネットワーク整備事業 脳卒中診療の医療提供体制を強化するため、脳卒中急性期医療機関(15機関)に対し病院間の医療情報共有ツールの導入を支援 ・データヘルス推進支援事業 国保データベースを活用したデータヘルスを推進するため同データベースの分析システム(R4導入)の利活用を促進 	27,660 3,682 7,852 3,000 81,000 2,530
(2)ICTの利活用の推進、マイナンバーカードの利活用の推進	<p>■安全安心な暮らしのための情報通信技術の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】安全安心アプリ導入事業(再掲) スマートフォン用のアプリを導入し、犯罪・不審者情報や交通事故情報、特殊詐欺情報、災害情報等をタイムリーに発信 ・【新】「耳で聴くハザードマップ」導入事業(再掲) 視覚障害者に防災情報等を音声で伝えるスマートフォン用アプリを導入 ・【新】防災情報発信強化事業(再掲) 総合防災情報システムと県公式Xを連携し、地震等の防災気象情報や避難情報等を自動投稿する機能を追加 ・震度情報ネットワークシステム運用管理 地震発生時の震度情報の収集・伝達を行う情報システムの運用管理 ・デジタルデバイド対策事業 誰一人取り残さないデジタル社会を構築するため、スマートフォンの操作に不慣れな高齢者等を地域で継続して支援するボランティアの養成等を実施 ・高齢運転者安全教育推進事業 75歳以上の高齢者に対する運転免許証更新時の認知機能検査について、タブレット式認知機能検査システムを利用して実施 <p>■ICTを活用した学びの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来のDX人材育成事業 高度なプログラミングスキルや課題解決能力をもつ「突き抜けたDX人材」の育成を図るため、プログラミングスクール等を開催 ・ICT教育推進事業(再掲) デジタルコンテンツの活用促進や、教員のICT活用指導力の向上など、ICT教育環境の一層の充実 ・教育ICT機器整備事業 県立学校の校務用LAN、生徒用LANを運用するためのICT機器等の整備 <p>■デジタル技術を活用した地域課題解決の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】デジボックとやま実証実験プロジェクト事業 先進的なデジタル技術を活用し、地域課題の解決に向けた実証実験を実施するほか、県民、事業者等が抱える課題を掘り起こし、デジタルソリューションとマッチングすることで解決につながる取組みを試行 <p>■マイナンバーカードの利活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県マイナンバーカード利活用ハッカソン開催事業 マイナンバーカード利活用をテーマに一般県民から新しい視点での利活用方法を広く募集する「ハッカソン」を開催 ・【新】運転免許DX化事業 政府IT戦略により全国で進める運転者管理システムの共通基盤化、運転免許証とマイナンバーカード一体化及びオンライン講習時講習に必要な機器の改修や整備 	13,000 2,000 8,000 9,977 3,000 2,717 13,000 14,400 234,463 75,000 4,200 57,848
(3)Wi-Fi環境や超高速ブロードバンド(上下100Mbps以上)の整備促進	<p>■超高速ブロードバンドの整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村、民間通信事業者の連携による整備促進 <p>■Wi-Fi環境の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOYAMA Free Wi-Fi整備推進事業 室堂周辺のTOYAMA Free Wi-Fiの機器更新 	1,631 15,865

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
電子申請利用割合	34.0%	70.0%	オンライン利用促進対象手続における、総申請件数に占めるオンライン申請の割合(H30基準)
TOYAMAFreeWi-Fiの整備数	197箇所	220箇所	県内に設置されているTOYAMAFreeWi-Fiの整備数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	23 選ばれ続ける観光地づくり ー海のあるスイスを目指してー
政策目標	魅力的な観光地域づくりが進み、交通ネットワークや富山らしい体験メニューの充実で旅行者の満足度が向上し、国内外の旅行者が繰り返し訪れ滞在していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)戦略的な観光地域づくり	■官民一体となった戦略的な観光地域づくりの推進 ・富山県DMO活動推進事業 専任職員の配置とDXの推進によるマーケティング事業の強化、宿泊施設等と連携したデータ収集・分析の実施、着地型旅行商品の造成・販売、戦略的なプロモーションの実施、北陸DCを踏まえた受入体制整備や情報発信の実施 ・持続可能な観光地域づくり支援事業 デジタル技術の活用や、インバウンド等に対応した受入環境の整備等を支援	68,648
	■受入環境の整備・支援 ・富山駅観光総合案内所運営事業(再掲) 英・中など13言語に対応し、日本政府観光局認定の最高ランク「カテゴリー3」の案内サービスを実施 ・観光地誘導案内標識の整備事業 広域観光案内標識の整備・充実、市町村の観光地誘導案内標識の多言語表記化の支援	10,000
	・広域観光案内所運営事業(再掲) 県内2ヶ所の広域観光案内所の運営を支援	17,490
	・訪日観光客向け観光情報発信・取得利便性向上事業 海外での観光プロモーション用PRツールとして、富山の観光資源等をPRする外国語パンフレット等を制作	6,000
	■グレードの高い宿泊施設の誘致・支援 ・高付加価値旅行者向け宿泊施設誘致促進事業 高付加価値旅行者向け宿泊施設の誘致検討委員会を設置し、立地に向けた方策を検討するとともに、誘致活動を実施	2,400
	・旅館施設近代化等促進費 県内観光旅行事業者への施設整備資金の融資	3,450
	・廃屋等撤去観光地景観改善支援事業 県内観光地の魅力を高めるため、地域の観光まちづくりの取組みと連携した廃屋等の撤去に対し、国や地元市町村と一体となって支援	22,000
	■広域観光の拠点である新幹線駅等における観光案内所の機能充実 ・富山駅観光総合案内所運営事業 英・中など13言語に対応し、日本政府観光局認定の最高ランク「カテゴリー3」の案内サービスを実施	88,000
	・広域観光案内所運営事業 県内2ヶ所の広域観光案内所の運営を支援	51,075
	■主要駅・空港と観光地を結ぶ二次交通の整備 ・ぐるっと富山観光地アクセス充実事業 県内の新幹線駅・空港と観光地を結ぶ観光路線バスやツアーバスの運行を支援	17,490
(2)広域観光の拠点化	・富山駅観光総合案内所運営事業 英・中など13言語に対応し、日本政府観光局認定の最高ランク「カテゴリー3」の案内サービスを実施	2,400
	・広域観光案内所運営事業 県内2ヶ所の広域観光案内所の運営を支援	24,600
	■観光の質を高める取り組みの継続的な推進 ・富岩水上ライン推進事業(再掲) 環境に配慮した電気船の4艇体制で安全・安心に配慮し運航 船舶の適切な保守整備等を実施	4,822
(3)富山らしい魅力の創出	・世界文化遺産登録推進事業(再掲) 民間団体が行う普及啓発事業等への支援(立山・黒部、近世高岡の文化遺産群、立山黒部ジオパーク)	6,500
	■「富山湾」を素材とした観光商品化や高付加価値化の推進 ・【新】北陸三県サイクルツーリズム連携事業(再掲) 全国からサイクリストの誘客を図るため、北陸三県で連携したプロモーションを実施	3,800

	<ul style="list-style-type: none"> ・県民向け自転車普及啓発事業(再掲) 自転車の更なる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及イベントの開催や、マナー向上のための啓発を実施 ・富山湾の魅力発信事業(再掲) 国際ポータルサイトへの出展など ・官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業(再掲) 官民連携による富山湾の活用及び保存の取組みの推進など 	3,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・富山湾の魅力発信事業(再掲) 国際ポータルサイトへの出展など 	2,100
	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業(再掲) 官民連携による富山湾の活用及び保存の取組みの推進など 	4,943
	<p>■冬季の魅力創出や通年観光の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートのまちめぐり事業(再掲) 県内の美術館・博物館等を巡るクーポンを造成・販売し、県内周遊・通年観光を促進 ・冬季誘客に向けた旅行商品造成促進事業 冬季の誘客促進に向け、募集型企画旅行に係るパンフレット等の作成やバス利用に対する支援 ・環水公園ウェルビーイング向上事業 富岩水上ラインとの連携や、県内若手経営者・学生などの企画力を活用したイベントを環水公園で開催 	3,000
		3,500
		18,000
(4)戦略的なプロモーション	<p>■ブランド価値を活かしたプロモーションと「海のあるスイス」の観光ブランドの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山湾の魅力発信事業(再掲) 国際ポータルサイトへの出展など ・「世界で最も美しい湾クラブ」総会派遣事業(再掲) 湾クラブ総会に参加し、改めて本県の多彩な魅力をアピール <p>■ターゲットの特性に応じた媒体選定による効果的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北関東地方観光プロモーション事業 北関東地方からの誘客を図るため、寿司をフックとした観光プロモーションを実施 ・ツーリズムEXPOジャパン2024出展事業 世界最大級の観光イベントに出展し、北陸への旅行の商品化を推進するとともに、本県はじめ北陸を周遊する観光の魅力を広くPR ・首都圏魅力発信強化事業 本県の物産・観光、移住・定住促進情報等を効果的かつ総合的に発信するため、首都圏メディア向けPRや、首都圏における魅力発信企画を実施 ・首都圏とやまの魅力発信事業(再掲) 首都圏情報発信拠点等を活かしたイベントの開催など、本県独自の魅力について情報発信 ・首都圏観光・定住促進事業(再掲) 首都圏情報発信拠点を活かし、観光・定住に関する相談や情報提供を実施 ・首都圏起点の全国マーケティングin日本橋とやま館事業(再掲) 参加体験型の企画や、首都圏バイヤーと県内事業者の関係構築を強化 ・【新】関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業 令和6年7月の北陸三県関西圏情報発信拠点の開設に向けた準備やオープニングプロモーション・運営等を実施 ・パンフレット等を活用したとやまの観光魅力発信事業 県内事業者と連携した観光MAPや観光PRポスターによる観光情報発信 ・【新】Webマーケティングによるデジタル情報発信事業 観光情報サイト「とやま観光ナビ」を活用したWebマーケティングを行い、戦略的なデジタル情報の発信を展開 ・【新】北陸・とやま応援事業(R⑤.2月補正専決) 地震による風評被害や旅行自粛を払拭するため、国・北陸四県の協力による旅行割引(北陸応援割)や県独自のクーポン配布を実施 ・マイクロツーリズム推進体制構築事業 近隣県民の誘客を促進するため、近隣県向け情報発信等、県内関係者と連携してマイクロツーリズムを推進 <p>■交通事業者、大手旅行者、近隣自治体等と連携したプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR連携富山ファン創出事業 JRと連携した情報発信や誘客事業を実施 ・【拡】北陸デスティネーションキャンペーン推進事業 令和6年10月からの北陸デスティネーションキャンペーンにおいて、北陸三県やJR等と連携し、観光誘客の促進や、旅行者の満足度向上の取組みを実施 ・北陸三県連携プロモーション事業 大手旅行会社による誘客キャンペーンやマスメディアを活用した情報発信など様々なプロモーションを展開 ・【新】三霊山を活用した観光PR事業 三霊山の認知度向上を図るため、食をフックにした観光PRイベント等を開催 ・【新】三霊山周遊デジタルスタンプラリー事業 三霊山を有する三県の周遊の促進を図るため、三霊山をテーマとしたデジタルスタンプラリーを実施 	2,100
		2,628
		7,000
		8,000
		6,500
		27,374
		13,242
		5,500
		65,500
		5,800
		27,660
		1,300,000
		4,300
		27,900
		27,500
		20,000
		3,000
		3,000

<ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊観光促進事業 広域周遊観光を促進するため、関係県と連携したプロモーションなどを実施 	5,400
<ul style="list-style-type: none"> ・北陸三県通年誘客キャンペーン事業 北陸三県やJR等との連携による通年での誘客キャンペーンの実施 	10,000
<ul style="list-style-type: none"> ・北陸三県誘客促進連携協議会負担金 北陸地域における広域観光を推進するため、北陸三県とJR等が連携して観光キャンペーンや観光情報の発信を実施 	3,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
観光公式SNSフォロワー数(歴年)	27,447人	36,000人	観光公式SNS(Twitter,Instagram,Facebook)フォロワー数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	24 うるおいのあるまちづくりと中心市街地の賑わいの創出
政策目標	地域の個性を活かした魅力的なまち・うるおいのあるまちが形成されるとともに、中心市街地に多様な都市機能が集積され、賑わいが創出されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額	
(1)地域の個性を活かした魅力あるまちづくり	■市町村や住民主体の先導的なまちづくり ・まちづくり総合支援事業(再掲) 市町村や民間事業者が自主性・主体的に実施する、魅力ある地域環境の整備に向けた先導的なまちづくり事業に対する支援	100,000	
	■景観に配慮した美しいまちづくりの推進 ・美しい景観づくり推進事業(再掲) 景観アドバイザーの派遣、県民、市町村等が行う景観づくり事業への補助、うるおい景観とやま賞の実施 ・屋外広告物適正化推進事業(再掲) 景観広告とやま賞及び屋外広告物講習会等の実施	8,245 1,039	
	■美しい田園景観の保全 ・散居景観保全事業(再掲) 地域協定に基づく、屋敷林の枝打ち等の散居景観保全活動に対する支援 ・優良農地を確保するほ場整備等の推進 県営農地整備事業(再掲) 農村景観を損なう耕作放棄地の発生を防止する未整備農地の大区画化等整備	9,000 5,426,928 の一部	
	■市街地再開発事業等の促進 ・中央通りD北地区(富山市)の市街地再開発事業等への支援 ・地籍調査事業 市町村が実施する地籍調査事業(一筆ごとの土地の境界、地籍等の明確化)に対し支援	64,000 90,385	
	■空き家対策の推進 ・空き家対策推進事業 空き家コーディネーターの設置や解体費への支援、官民連絡協議会の開催 空き家発生を未然に防止するための普及啓発への支援 今後の空き家活用モデルになるような先駆的な取組みを支援	11,457	
	■土地区画整理事業等による都市基盤の整備促進 ・朝日町泊駅南土地区画整理事業等の整備促進 ・公共交通や中心市街地の活性化を支援する道路の整備推進	182,000 1,477,000 の一部	
	■下水道整備による快適なまちづくりの推進 ・下水道総合交付金事業等(再掲) 流域下水道の整備(小矢部川流域下水道、神通川左岸流域下水道) 公共下水道の整備(15市町村で実施)	1,623,000 の一部	
	■安全、便利、快適な道路整備の推進 ・とやまのみちフレッシュアップ事業(県単独道路改良事業) 「道路を使う側の視点」に立ち、既存の道路に「ひと工夫」加えることにより、より安全、便利で快適な道路の整備推進	2,159,000 の一部	
	(2)うるおいのある水辺空間の創出	■魅力ある水辺空間の賑わい創出 ・環水公園におけるウェルビーイング向上事業 富岩水上ラインとの連携や、県内若手経営者・学生などの企画力を活用したイベントを環水公園で開催 ・富岩水上ライン運航事業 環境に配慮した電気船の4艇体制で安全・安心に配慮し運航 船舶の適切な保守整備等を実施 ・緑地・遊歩道の整備事業(港湾事業の一部)(再掲) 快適で潤いのある水辺空間の創出	18,000 4,822 1,462,000 の一部
		■中心市街地活性化基本計画等の事業実施への支援 ・認定中心市街地支援事業(再掲) 富山市、高岡市の中心市街地活性化基本計画に記載された活性化事業の推進を支援	15,000
■市街地再開発事業等の促進 ・中央通りD北地区(富山市)の市街地再開発事業等への支援(再掲) ・地籍調査事業(再掲) 市町村が実施する地籍調査事業(一筆ごとの土地の境界、地籍等の明確化)に対し支援		64,000 90,385	

(4)地域交通ネットワークの充実と公共交通利用者の支援及び広域的な観点からのまちづくりの推進	■地域交通ネットワークの確保と利用促進	
	・【新】富山県地域交通戦略会議運営事業 市町村、県民の代表、交通事業者、有識者等の関係者で、戦略に基づく施策の取組状況を共有し、課題等について協議する。	2,200
	・【新】富山県MaaS利用拡大事業 公共交通の検索やチケット購入が可能なMaaSアプリの利用拡大を図るため、沿線地域の関係者と連携したデジタルチケット等の開発を支援	10,000
	・【新】交通デジタル投資促進事業 駅やバス停、地域の拠点施設に公共交通の運行情報を案内するデジタルサイネージの設置支援等	5,000
	・【新】城端線・氷見線再構築事業【一部R⑤.2補正】 城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画に基づき、JR西日本が実施する城端線・氷見線の整備に対し支援	412,000
	・【新】城端線・氷見線活性化調査等事業 城端線・氷見線のあいの風とやま鉄道への移管に向け、移管後の経営に必要な旅客利用等の調査を実施	10,000
	・城端線・氷見線活性化支援事業費補助金 城端線の増便試行に対して支援	33,268
	・新幹線アクセス路線バス等運行支援事業補助金 新幹線駅と主要駅等を結ぶバス路線の運行経費に対して支援	4,000
	■市街地等での交通渋滞対策の推進	
	・富山駅付近連続立体交差事業(再掲) 富山地方鉄道本線の高架化に向けた整備推進	2,400,000
■道路網の体系的な整備の推進		
・道路新設改良費(再掲) 市町村間を連絡する道路や、新幹線駅へのアクセス道路などの体系的な整備推進	14,764,000 の一部	

<参考>
活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
市街地再開発事業等が完了した地区の区域面積(累積)	19.79ha	20.83ha	市街地再開発事業等が完了した地区の区域面積
都市計画道路の整備率	80.1%	81.7%	都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合
土地区画整理事業が完了した地区の面積	4,492.0ha	4,521.4ha	土地区画整理事業が完了した地区(換地処分を終えた地区)の区域面積
地籍調査事業の進捗率	29.1%	30.5%	市町村が実施する地籍調査事業の進捗率
公共交通活性化総合対策事業数累計(再掲)	282事業	283事業	市町村及び交通事業者が実施した公共交通活性化総合対策事業の累計

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	25 国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用と保全
政策目標	県民総ぐるみによる「世界で最も美しい富山湾」の活用と保全の取組みが活発化し、富山湾の多彩な魅力がさらに高く評価され、国内外からの多くの人で賑わっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額	
(1)富山湾の保全の推進	■県民参加による海岸清掃 ・みんなで取り組む漂着ごみ対策事業(再掲) 県内企業・団体等が参加する「とやま海ごみボランティア部」の活動促進 1,700 ・「みんなできれいにせんまいけ大作戦」清掃美化事業(再掲) 市町村と連携した清掃美化活動の推進、岐阜県と連携した海岸漂着物対策の実施 1,600 ・海岸清掃体験バスツアー開催事業(再掲) 上流域から海岸まで川の流れに沿って海岸漂着物の実態を知り、海岸清掃を行うツアーの実施 2,400 ・漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業(再掲) 国際的な海岸漂着物の調査活動体験等を通じた発生抑制の促進、漂着物アート展を通じた普及啓発を実施 7,568		
	■県民参加による森づくり(海を育む森づくり) ・水と緑の森づくり事業(再掲) 県民協働による里山林の整備、奥山での混交林整備、森林ボランティア等による森づくり活動への支援、県産材遊具の設置や木育イベントの開催等 413,754		
	■藻場の保全・造成 ・海の森づくり事業(再掲) 藻場の保全や海岸清掃等を行う活動組織に助成 2,736		
	■水質保全対策 ・富山湾漁場環境調査(再掲) 富山湾の沿岸域における赤潮発生状況や水質など、漁場環境調査の実施 3,692 ・とやまの清らかな水環境保全活動促進事業(再掲) 環境観察会や名水巡りツアーを開催し、若者・子どもの水環境保全活動への参加を促進 1,909		
	■海岸侵食対策 ・海岸総合交付金事業、港湾海岸総合交付金事業 等(再掲) 波浪等による侵食から海岸を防護し国土を保全するため、海岸保全施設を整備 952,650 の一部		
	■海岸林の保全 ・治山事業(再掲) 海岸砂地等に海岸防災林を造成し、塩害、飛砂、高潮等による被害を防止 27,000		
	(2)富山湾の魅力のブラッシュアップ	■湾岸サイクリング環境等の充実 ・県民向け自転車普及啓発事業 自転車の更なる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及イベントの開催や、マナー向上のための啓発を実施 3,000 ・ナショナルサイクルルート利用状況調査 ナショナルサイクルルートに指定された「富山湾岸サイクリングコース」の利用状況を調査し、今後の施策展開の基礎資料とする。 3,700 ・サイクリングコースの整備 富山湾の魅力を満喫できるコースの整備等 93,800 ・湾岸道路の整備 1,301,000	
		■マリンスポーツの振興 ・富山湾の魅力発信事業 インターナショナルボートショーへの出展など 2,100	
		■イベント等の誘致・開催 ・【新】富山湾岸サイクリング第10回大会記念事業 「富山湾岸サイクリング2024」の開催とパネルディスカッションやトークショーを行う前日祭の実施 3,700	

(3)産業振興への活用	■官民連携による「富山湾」を冠した事業の推進 ・官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 官民連携による富山湾の活用及び保存の取組みの推進など	4,943
	■マリンスポーツ等の環境を活かした誘客促進 ・富山湾の魅力発信事業(再掲) インターナショナルボートショーへの出展など	2,100
	■クルーズ客船の誘致による環日本海クルーズの振興 ・クルーズプロモーション強化事業 伏木富山港へのクルーズ船誘致を促進するため、コロナ後も引き続き、継続的に船社訪問・招請など戦略的なプロモーション・誘致活動を実施	8,820
	■伏木富山港の機能強化・利用促進 ・伏木富山港利用促進事業(再掲) 荷主企業奨励金や国内輸送費助成制度等のインセンティブ制度により集荷を促進	37,600
	・SLBロシア欧州物流活性化事業(再掲) シベリア鉄道を利用した貨物輸送の利用促進によるロシア欧州物流の活性化	25,960
	■深層水関連産業の振興 ・深層水産業推進事業(再掲) 医薬・バイオ等の分野における深層水利用研究の推進、首都圏でのイベント等によるPR、「とやま深層水フォーラム2024」の開催等により、富山の深層水を活用した産業振興を推進	10,360
	■つくり育てる漁業の推進 ・【新】富山湾に適した磯根資源養殖技術向上研究 クロモ・ガゴメコブ等の海藻類、イワガキ、ウニ類の生産技術向上と養殖の実証事業を実施	3,000
(4)富山湾の魅力の戦略的な情報発信	■国内向け情報発信 ・【新】北陸三県サイクルツーリズム連携事業(再掲) 全国からサイクリストの誘客を図るため、北陸三県で連携したプロモーションを実施	3,800
	・【拡】食の魅力発信事業(再掲) 首都圏バイヤーに向けた県産食材等のプロモーション、オンライン商談の支援など	28,017
	■海外向け情報発信(海外メディア等への発信、各種情報誌への掲載) ・「世界で最も美しい湾クラブ」総会派遣事業 湾クラブ総会に参加し、改めて本県の多彩な魅力をアピール	2,628

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
富山湾岸サイクリング大会の参加者数	1,253人	1,500人	富山湾岸サイクリング大会の参加者数
クルーズ船社、旅行会社等の訪問件数(再掲)	19件	65件	伏木富山港へのクルーズ客船誘致を目的に、国内外のクルーズ船社、旅行会社等を訪問した件数

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	26 「立山黒部」の世界ブランド化と戦略的な国際観光の推進
政策目標	「立山黒部」の自然や歴史・文化といった多種多様な「本物の価値・魅力」を世界中の旅行者に提供し、「立山黒部」が世界ブランドとして広く認識されていること。また、本県の観光の魅力が国際的に認識され、国内外から「選ばれ続ける観光地」として、年間を通じて、海外の様々な国・地域から、多くの観光客が訪れていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)「立山黒部」の世界ブランド化に向けたプロジェクトの推進	<p>■「立山黒部」の高付加価値化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】黒部宇奈月キャニオンルート一般開放・旅行商品化運営支援事業 令和6年6月からの「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放・旅行商品化に際し、旅行者の満足度を高める取組み等を支援 ・【新】黒部宇奈月キャニオンルート開業プロモーション事業 「黒部宇奈月キャニオンルート」の開業を祝う記念イベントや開業気運を高めるプロモーションを展開 ・【新】持続可能な立山黒部アルペンルート魅力向上・あり方検討事業 立山黒部アルペンルートの持続可能な観光地としてのあり方及び今後の施策展開を検討 ・【新】立山駅周辺駐車場利便性向上事業 立山駅周辺駐車場における観光客の利便性向上及び駐車場管理の負担軽減に向けたDX推進等を支援 ・【新】新宇奈月・樺平周辺旅行商品造成支援事業 宇奈月・樺平周辺における新たなツアー造成を支援 ・世界遺産登録推進事業 立山砂防の歴史的施設群の世界遺産登録に向けて、顕著な普遍的価値を国内外に広くアピール ・自然公園等における利用者の安全性・快適性を確保するために行う施設整備(再掲) ー【拡】自然公園の整備【一部11月補正】 弥陀ヶ原園地周遊歩道の改修や早月尾根公衆トイレの改修等を実施 ・ライチョウ王国とやま発信事業(再掲) 第9次ライチョウサポート隊(100名、うちジュニア枠10名程度)を募集し、保護活動を実施 ・樺平駅周辺のインフラ整備(再掲) キャニオンルートの一般開放に向け、出発地点である樺平駅周辺の観光インフラ整備として、足湯屋根を純和風の「よしず」仕上がりとし、日本人や外国人観光客にも親しまれやすいものへ改修する。 	<p>22,000</p> <p>22,500</p> <p>1,000</p> <p>3,000</p> <p>5,000</p> <p>6,300</p> <p>128,200</p> <p>1,169</p> <p>234</p>
(2)広域的な観光周遊ルートの開発・形成など戦略的な国際観光の推進	<p>■「新ゴールデンルート」など広域的な観光周遊ルートの開発・形成の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジット・トヤマ広域連携強化事業 東アジア、東南アジア、欧米豪市場において、国や近隣自治体と連携した観光プロモーションを実施 <p>■旅行会社・メディア等の招聘事業や現地プロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】ビジネスジェット利用誘客推進事業 東南アジアの富裕層からの誘客促進のため、旅行会社の招聘及び県内観光事業者との商談会の実施 <p>■欧米豪など新規市場に向けた効果的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪観光客誘致基盤体制強化事業 欧米豪からの誘客を推進していくため、現地旅行会社・メディアへのプロモーションや県内への招聘を実施 ・「富山week in LONDON」プロモーション事業 欧州の旅行会社が集積するロンドンで、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示等を実施し、誘客を促進 ・「世界で最も美しい湾クラブ」総会派遣事業(再掲) 湾クラブ総会に参加し、改めて本県の多彩な魅力をアピール <p>■外国人個人旅行者(FIT)の受入環境の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向けHP及びSNS情報発信強化事業 インバウンド向けの情報発信を強化するため、観光HPと各国向けのSNSを一体的に運用 ・持続可能な観光地域づくり支援事業(再掲) デジタル技術の活用や、インバウンド等に対応した受入環境の整備等を支援 <p>■クルーズ客船の誘致による環日本海クルーズの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズプロモーション強化事業(再掲) 伏木富山港へのクルーズ船誘致を促進するため、コロナ後も引き続き、継続的に船社訪問・招請など戦略的なプロモーション・誘致活動を実施 	<p>26,740</p> <p>3,000</p> <p>17,000</p> <p>25,000</p> <p>2,628</p> <p>11,000</p> <p>10,000</p> <p>8,820</p>

(3)国際会議や大規模コンベンションの誘致	■主催者等に対するコンベンション開催環境の周知 ・コンベンション誘致促進事業 コンベンション誘致体制を強化するとともに、情報の体系的な収集・分析により、積極的・効果的な誘致活動を展開する	2,676
	■コンベンション開催に向けた支援の充実 ・富山型MICE連携推進事業 ステークホルダー連携のための協議会の開催	620
	・国際会議「富山で開こう。」推進事業 ICCA(国際会議協会)データベース活用による誘致強化や国際会議主催者等を対象とした開催支援セミナーの開催	1,462
	・学会等開催支援事業 本県で開催される学会(現地開催とオンライン開催を組み合わせたハイブリッド形式を含む)について、主催者に対して助成	24,000
	・(公財)富山コンベンションビューロー推進事業 コンベンション開催支援事業補助や、会場内のインフォメーションコーナーへのボランティア派遣事業などの活動支援	14,820
	・「富山で合宿！」誘致事業(再掲) 部活動やサークル活動等の合宿を誘致するため、合宿経費に対して助成	10,000
	■「富山らしいおもてなし」の演出などアフターコンベンション等の充実 ・コンベンションタクシー助成事業 県内で宿泊したコンベンション参加者に対し、観光地へのタクシー利用料金の半額を助成	550
・おもてなしタクシードライバー実践力アップ事業(再掲) タクシードライバーのおもてなし力の向上を図るため、観光情報や接客知識などを学ぶ画像付き音声講座を配信	1,000	

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
立山エリアにおけるエコツアープログラムの数	34件	50件	立山エコツーリズム研究会の構成員が実施するエコツアープログラムの数
旅行会社・メディア等の招聘件数	6件	40件	旅行会社・メディア等の招聘件数
富山県学会等開催事業費補助金の交付件数	19件	39件	本県で開催されたブロック規模以上の学会等への県からの補助件数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	27 産業観光をはじめとした多彩なツーリズムの展開
政策目標	ものづくり県の強みや歴史ある伝統工芸の魅力を活かした産業観光をはじめ、映画・ドラマの制作誘致とロケ地めぐり、スポーツ、芸術文化など旅行者の多様なニーズに応えた多彩なツーリズムが展開されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)産業観光の振興	■ものづくり体験などの産業観光の推進 ・産業観光魅力創出事業 県内企業の産業観光の取組みを支援	5,000
(2)映画・ドラマ等の制作誘致とロケツーリズムの促進	■本県を舞台とした映画やドラマ等による富山の魅力発信 ・映画誘致推進事業 富山県ロケーションオフィスによる映画やドラマなどの撮影の誘致・支援 ・映画を活用した観光PR事業 本県が舞台やモデルとなった映画等の公開にあわせて、ロケ地マップの配布、パネル展示等を実施し、ロケ地富山の魅力や観光情報を全国にPR ・【新】海外映像作品誘致促進事業 海外映画等の富山県内撮影を積極的に誘致し、関係人口や県内消費額の拡大を図る。	10,907 3,000 3,990
(3)スポーツツーリズム、美術館・博物館めぐり、教育旅行などの促進	■スポーツを楽しむ環境整備の促進、観光商品化の働きかけ ・マラソン大会開催事業(再掲) スポーツの振興や新たな富山県の魅力の創造、関係人口の拡大を目的として、マラソン大会を開催 ・【新】富山湾岸サイクリング第10回大会記念事業(再掲) 「富山湾岸サイクリング2024」の開催とパネルディスカッションやトークショーを行う前日祭の実施 ・【新】北陸三県サイクルツーリズム連携事業 全国からサイクリストの誘客を図るため、北陸三県で連携したプロモーションを実施 ・富山湾の魅力発信事業(再掲) インターナショナルポートショーへの出展など ・eスポーツ関係人口創出事業 関係人口の創出を図るため、地域の観光資源を活用したeスポーツイベント等の開催を支援 ■歴史・芸術文化の観光資源としての活用促進 ・アートのまちめぐりクーポン事業 県内の美術館・博物館等をめぐるクーポンを造成・販売 ・高志の国文学館での企画展等の開催(再掲) ・富山県美術館での企画展・常設展の開催(再掲) 「エッシャー展」、「IPT2024」等 ・水墨美術館での企画展・常設展の開催(再掲) 「没後100年 富岡鉄斎展」、「魅惑の摘水軒コレクション」等 ・立山博物館での企画展・常設展の開催(再掲) 特別企画展「立山・白山・富士山を巡る」展等 ■教育旅行の誘致 ・「富山で学ぼう！」教育旅行誘致推進事業 北陸三県が連携した誘致活動等を実施	89,620 3,700 3,800 2,100 6,000 3,000 35,781 128,481 52,677 20,999 5,400

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
産業観光魅力創出補助金補助件数 (累計)	104件	136件	観光客の産業観光受入態勢を整備する県内企業への補助金の交付決定件数
映画等誘致件数(累計)	90件	131件	富山県ロケーションオフィス(TLO)が支援し、県内でロケが行われた映画等の件数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	28 観光人材の育成とおもてなしの心の醸成
政策目標	国内外の旅行者への質の高いサービスの提供や、観光素材の発掘・磨き上げができる人材が充実していること。また、県民の一人ひとりに、旅行者を温かく迎えるおもてなしの心や、ふるさとの魅力を再発見しアピールする気運が醸成されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)地域の観光を担う人づくり	■とやま観光塾における人材育成 ・とやま観光塾事業 国内外からの旅行者の多様なニーズに対応した次世代を担う観光人材の育成 ・トラベルデザイナー実践事業 専門性を活かして働くことができる人材基盤の拡大を目指し、高付加価値旅行者に対応できるようなトラベルデザイナーを養成 ■タクシー乗務員を対象とした研修会の開催やスキルアップの促進 ・おもてなしタクシードライバー実践力アップ事業 タクシードライバーのおもてなし力の向上を図るため、観光情報や接客知識などを学ぶ画像付き音声講座を配信	23,100 1,000 1,000
(2)グローバル化に対応した次世代の観光を担う人づくり	■外国人旅行者に対応できる人材育成 ・とやま観光塾事業(再掲) 国内外からの旅行者の多様なニーズに対応した次世代を担う観光人材の育成	23,100
(3)おもてなしの心の醸成	■おもてなし気運の醸成 ・おもてなしタクシードライバー実践力アップ事業(再掲) タクシードライバーのおもてなし力の向上を図るため、観光情報や接客知識などを学ぶ画像付き音声講座を配信 ・パンフレット等を活用したとやまの観光魅力発信事業(再掲) 県内事業者と連携した観光MAPや観光PRポスターによる観光情報発信 ■ふるさと教育の推進 ・富山ふるさとマスター派遣事業(再掲) 「富山ふるさとマスター」を研修会に講師として派遣 ・越中富山ふるさとチャレンジ事業(再掲) 地域の魅力や資源の深掘り・再発見を促すため、県内施設等を巡るモバイルスタンプラリー等を実施	1,000 5,800 800 4,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
とやま観光塾の修了者数(累計)	715人	920人	観光を担う人材の育成に継続的に取り組むことにより、毎年50人ずつ修了生を増加させることを目指す。
観光PRポスターの種類(累計)	33枚	36枚	観光PR用に作成した「富山で休もう。ポスター」等の数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	29 豊かな食の磨き上げと発信
政策目標	本県の豊かな海の幸・山の幸や郷土料理のさらなる磨き上げと、県産食材を活用した魅力ある料理店・レストラン等の国内外への情報発信がなされており、多くの観光客が繰り返し訪れていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)地域と連携した豊かな食の磨き上げ・発信	■食の磨き上げによる観光資源の掘り起こし ・富山県DMO活動推進事業(再掲) 専任職員の配置とDXの推進によるマーケティング事業の強化、宿泊施設等と連携したデータ収集・分析の実施、着地型旅行商品の造成・販売、戦略的なプロモーションの実施、北陸DCを踏まえた受入体制整備や情報発信の実施	68,648
	■魅力的なお土産品の充実 ・【新】食のブランド推進事業(再掲) とやま食文化懇談会を開催し、食を支えるヒト・モノ・技を発信	3,000
(2)食や食文化のブランドイメージの向上・定着	■食や食文化のブランドイメージの向上・定着 ・【新】食のブランド推進事業(再掲) とやま食文化懇談会を開催し、食を支えるヒト・モノ・技を発信	3,000
	・富山市と連携したイタリア料理イベント開催事業 飲食店及び生産者の需要拡大のため、富山市内で県産食材を用いたイタリアンの飲食・物販イベントを開催	3,000
	・【拡】食の魅力発信事業(再掲) 首都圏バイヤーに向けた県産食材等のプロモーション、オンライン商談の支援など	28,017
(3)「食」をキーコンテンツとした観光誘客の促進	■富山ならではの食材や料理等を活かした観光誘客の促進 ・北関東地方観光プロモーション事業(再掲) 北関東地方からの誘客を図るため、寿司をフックとした観光プロモーションを実施	7,000
	・ツーリズムEXPOジャパン2024出展事業(再掲) 世界最大級の観光イベントに北陸3県が連携のうえ出展し、北陸への旅行の商品化を推進するとともに、本県はじめ北陸を周遊する観光の魅力を広くPR	8,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
「富山湾鮭」関連商品の販売実績	2,828名	2,600名	「富山湾鮭」(着地型旅行商品)の販売実績 (とやま観光推進機構が運営するWEBサイト「VISIT富山県」における販売実績)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	活力とやま	政策名	30 富山のブランドカアップに向けた戦略的展開
政策目標	富山ならではの優れた製品や食の魅力が、「とやまブランド」として広く認知され、評価が高まっているとともに、地域のイメージや好感度が向上していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)富山を代表するブランドの浸透と価値の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■「富山＝ウェルビーイング」のイメージづくりに資するブランディングの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・【新】「寿司といえば、富山」寿司職人マッチング支援事業 寿司の提供体制を維持・強化するため、寿司店と若手寿司職人の就職マッチングを支援 5,000 ・【新】「寿司といえば、富山」県民・事業者参画促進事業 県民や民間事業者の参画促進を図るため、県民の富山の寿司に対する愛着を深めるとともに民間事業者が参画しやすい環境を整備 29,000 ・【新】「寿司といえば、富山」魅力発信事業 「幸せ人口1000万」の実現に向け、本県の認知度向上や誘客促進等を図るため、寿司を入口に本県の魅力を国内外に発信 22,000 ■県を代表する製品のさらなるブランド力強化の支援 11,513 <ul style="list-style-type: none"> ・「富山県推奨とやまブランド」推進事業 「富山県推奨とやまブランド」認定品目について、国内外にその魅力を発信するとともに、さらなるブランド力強化に向けた取組みを支援 ■伝統的工芸品の販路開拓等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸ミライ創造事業 伝統工芸事業者が専門家の伴走支援により行う新商品開発・販路開拓を支援 9,300 ・とやま伝統工芸プロモーション戦略事業 伝統工芸品の魅力PRと販路開拓のため、中国北京でのプロモーションを実施 2,501 ・伝統工芸品産業支援事業補助金 産地組合等が行う販路開拓、人材育成事業を支援 6,500 ・富山県伝統的工芸品展開催事業(昭和53年度～) 富山県の国指定伝統的工芸品及び県指定工芸品の製作体験・製作実演・作品展示を実施 1,500 ■地域団体商標の登録促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体ブランド発信応援事業 地域団体商標の登録促進のための出願経費の助成 260 	
(2)ブランド化に向けた新たな製品の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■新たな「とやまブランド」の発掘・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「明日のとやまブランド」育成支援事業 「明日のとやまブランド」育成支援対象品目のブランド力強化に向けた取組みに対する支援 5,370 ■富山米のブランド力の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・富山富戦略推進事業(再掲) 県内・全国のファン獲得につながるよう、食べてもらう機会の創出などによる消費拡大や、中食・外食事業者の販売活動支援による需要拡大を推進 78,500 ■新たなお土産ブランドの開発・PR <ul style="list-style-type: none"> ・とやまのお土産新ブランド「美のこわけ」発信事業 富山の美・癒しをテーマとする新たなお土産ブランド「美のこわけ」のブランディング、販路開拓 11,400 ■デザインを活用したPR、販売促進の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・富山プロダクツ選定事業(再掲) 機能性・デザイン性に優れた「富山プロダクツ」の販路開拓を支援 2,055 	
(3)「日本橋とやま館」における富山の上質なライフスタイルの積極的・戦略的発信	<ul style="list-style-type: none"> ■首都圏の情報発信拠点の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏情報発信拠点運営事業 日本橋とやま館において、物販、飲食等の多彩な機能を活かし、上質なライフスタイルを発信 163,901 ・首都圏とやまの魅力発信事業 首都圏情報発信拠点等を活かしたイベントの開催など、本県独自の魅力について情報発信 27,374 ・首都圏観光・定住促進事業 首都圏情報発信拠点を活かし、観光・定住に関する相談や情報提供を実施 13,242 ・首都圏起点の全国マーケティングin日本橋とやま館事業(再掲) 参加体験型の企画や、首都圏バイヤーと県内事業者の関係構築を強化 5,500 ・いきいき富山館管理運営事業 首都圏における本県のイメージアップに向けた、観光・物産の情報発信拠点として、特産品展示販売、企画展、観光案内・情報提供などを実施 49,374 	

(4)情報発信による富山の地域イメージの定着・向上	■富山を応援する人的ネットワークを活用した情報発信 ・ウェルビーイング・デジタルコミュニティ活性化支援事業 令和5年度に開設したデジタルコミュニティの運営や、参加者同士の交流の活性化に向けた取組みの支援	6,000
	・「とやま特別大使」、「とやまふるさと大使」の委嘱 県情報の提供、名刺配付など	564
	・「とやまファン倶楽部」の運営支援 県情報の提供、会報誌発行、交流会開催など	2,200
	・首都圏魅力発信強化事業 本県の物産・観光、移住・定住促進情報等を効果的かつ総合的に発信するため、首都圏メディア向けPRや、首都圏における魅力発信企画を実施	6,500
	■本県を舞台とした映画やドラマ等による富山の魅力発信 ・映画誘致推進事業 富山県ロケーションオフィスによる映画やドラマなどの撮影の誘致・支援	10,907
	・映画を活用した観光PR事業 本県が舞台やモデルとなった映画等の公開にあわせて、ロケ地マップの配布、パネル展示等を実施し、ロケ地富山の魅力や観光情報を全国にPR ・【新】海外映像作品誘致促進事業 海外映画等の富山県内撮影を積極的に誘致し、関係人口や県内消費額の拡大を図る。	3,990

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
「とやまふるさと大使」委嘱者数	630人 (R6.2月末)	600人	県外在住の富山県にゆかりのある方に委嘱し、富山の魅力発信、PR等の活動を行っていただく「とやまふるさと大使」の委嘱者数
「とやまファン倶楽部」会員数	910人	1,300人	各界各分野で活躍され、とやまをこよなく愛し、全国からとやまを応援しておられる富山県に関わりのある方々の会員組織の会員数
日本橋とやま館の会員数	10,842人	15,000人	首都圏に在住する富山ファンの中核となる日本橋とやま館の会員数